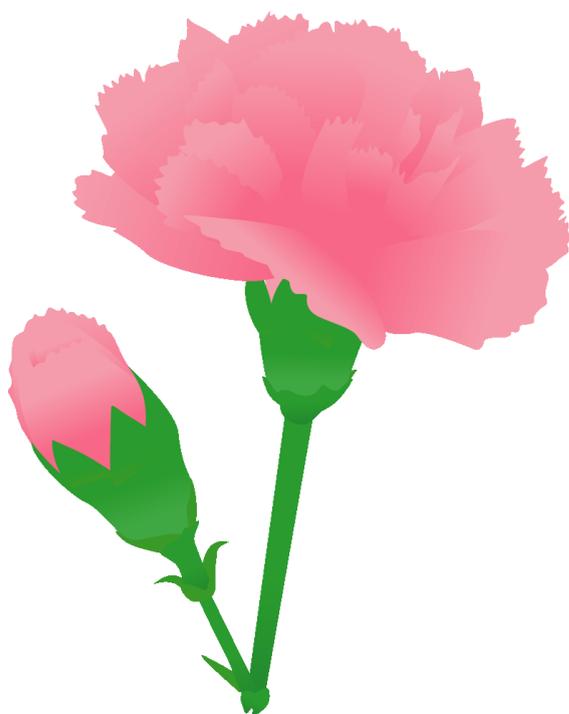


令和5年度 第2回  
第18採択地区教科用図書採択地区協議会  
議事録



日 時 令和5年7月31日（月）午前9時30分から

場 所 深谷市立教育研究所 3階 大会議室

令和5年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会会議録

【日時】令和5年7月31日（月）

【場所】深谷市教育研究所 大会議室

【出席者】委員 小柳光春、関根光男、島崎 祐子、久保田みずき、清水幸三郎、杉田佑美  
事務局 兵頭一樹、塩川和之、雨宮大地、森田欣也、高橋真也、高橋尚希、松島慎一郎  
井上雅彦、阿久津佳永

- 1 開会の言葉
- 2 会長あいさつ

議長	<p>それでは、これから協議を始めます。事務局から本日の会議の進め方について、説明しますので確認をお願いいたします。</p>
事務局	<p>協議会の進め方について説明いたします。目録の順番に従い、国語から、各教科の調査員長に調査研究の内容を報告していただきます。その後、質疑応答を行います。各教科の報告は15分、質疑協議は5分、合計20分で行います。社会については、地図を含み30分程度とします。</p> <p>選定は、3つの教科の協議終了ごとに投票で行います。</p> <p>なお、要項では、本協議会は公開となっておりますが、傍聴に際しましては、録音、撮影等をご遠慮ください。</p> <p>また、要望書が届いておりますが、要望書の内容につきましては、委員の皆様にお伝えしたとおりとなっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長	<p>ご質問、ご意見はありますか。</p> <p>それでは、各教科書の協議に入ります。進行に御協力お願いします。なお、投票により選定を行いますが、その際、お配りのメモ用紙をご活用ください。</p> <p>では、国語科の調査員長にお声がけください。</p>
議長	<p>ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>これから、国語科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>国語では、「東京書籍」「教育出版」「光村図書」3つの発行者の教科書があります。</p> <p>まず、それぞれの教科書についてご報告する前に、全ての教科書について共通して言えることをお伝えします。</p> <p>どの教科書につきましても、学習指導要領の教科の目標に準拠し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を行うために適した教科書でありました。</p>

また、ユニバーサルデザイン、特別支援教育への配慮、造本上の工夫等、どの教科書も細かな点に配慮され使いやすい教科書であったことを、まずご報告させていただきます。

それでは、これから各発行者の教科書について作成いたしました「国語科調査資料」の総括に書かれています内容を中心に特徴的な部分を説明させていただきます。

なお、説明する順番は、「発行者番号」順といたします。

また、具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思いますので、各発行者4年生・下巻の教科書をお手元にご用意いただければ幸いです。ご準備、よろしく願いいたします。

初めに「東京書籍」です。教科書4年・下巻36ページをお開きください。

各単元の始まりに見開きで、学習過程を明示しています。「見通す」「取り組む」「ふり返る」という構成にすることで、児童が学習課題を明確にしたうえで見通しをもって学習できるようになっています。

36ページが「見通す」ページになっています。「見通す」には次のように書かれています。「登場人物の気持ちは、物語が進むにつれて変化していきます。人物の気持ちは、なぜ、どのように変化しているのかを考えて読みましょう。」

これにより、この単元では「人物の気持ちの変化を想像しながら読む」という単元を通しての課題をもつことができます。

56・57ページが「取り組む」ページです。いわゆる「学習の手引き」が示されています。実際に授業で行う学習活動が示されています。学習活動を示すとともに、ノート例や気持ちを考える例などを示し、児童の考えが深まるヒントとなるような工夫がされています。

また、デジタルコンテンツを利用することで、思考を整理するツールを活用したり、前学年の既習事項や関連する学習を振り返ったりすることもできるようになっています。

56ページの資料室のQRコードでは、デジタルノートや本単元にかかわる既習事項を確認することができます。

次に、「教育出版」です。教科書4年・下巻26ページをお開きください。

「ごんぎつね」の初めのページです。「登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう」と学習課題が明確に示され、単元への導入がされています。

26・27ページをお開きください。見通しをもつ「学習の手引き」のページです。「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」と学習過程が分かるように構成され、どのように学習を進めていくのかがわかりやすく示されています。これにより、児童は見通しをもって学習できるようになっています。

また、下段にはそれぞれの学習過程で、ヒントとなるような例文が示されており、考えを深めることができるようになっています。

25ページ下のQRコードで、作者や同じ作者のほかの作品の紹介なども確認することができます。児童の学びを深めることにつながります。

28・29ページをお開きください。28ページの「言葉をふやそう」や29ページ上段の「ここが大事」のように、語彙や言葉の知識を整理し、学習内容の理解を深められる構成となっています。

また、巻末付録（143ページ）には、「言葉の工具箱」「言葉の木」「学ぶときに使う言葉」など、語彙を増やし、言葉の力を高める工夫がされています。学習内容を深める際に活用することができます。

最後に、「光村図書」です。教科書4年・下巻10・11ページをお開きください。

教科書の巻頭に、それぞれの単元で学ぶことが領域ごとに整理されています。このページは、読むことの単元で学ぶことを整理しています。これまでに学んだこと、これから学ぶことを示し、児童が見通しをもって系統的に学ぶことができるよう工夫されています。

13ページをお開きください。同じく「ごんぎつね」の導入のページです。

「この物語に出てくる小ぎつねの『ごん』は、どんなぎつねでしょうか。そして、物語の結末で、『ごん』にどんなことがおこるのでしょうか。」と、物語へのいぎないの言葉が示されており、児童の学びへの意欲を高める構成となっています。

32・33ページをお開きください。「学習の手引き」が示されているページです。「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と学習過程が示され、見通しをもって学習が進められるようになっていきます。他の発行者と同じく、下段に例やヒントが示してあり、児童の考えを深める助けとなります。

また、学習過程の前後に「問いをもとう」「目標」「ふり返ろう」があることにより、児童が主体的に学ぶことができるようになっていきます。特に、「ふり返ろう」では、振り返りの3つの観点が示されていることで、児童が何を学んだのか、何ができるようになったのかを自覚することができます。

また、17ページや27ページのように教材の理解を助けるデジタルコンテンツが充実しており、児童が主体的に学ぶことへつながります。その他の単元においても問いをもてるような動画や書くことの手助けになるような資料が多数掲載されています。

以上、3つの発行者全ての教科書につきまして、国語科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局

深谷市、寄居町の中学校25校において、第18採択地区の子供たちにとってふさわしい教科用図書について、学校での調査研究の結果をあげていただきました。回答は複数回答でも可としたものです。従って回答数は25以上となっております。学校調査結果について、目録順に読み上げます。東京書籍7票、教育出版19票、光村図書13票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員長	<p>国語の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「教育出版」と「光村図書」と考えました。</p> <p>「教育出版」の主な理由は、</p> <p>1点目は、学習の始まりに学習過程が示され、児童が何をどのように学ぶのか見通しをもてるような構成やレイアウトになっている点です。児童が、意欲をもって、主体的に学びを始めるよう工夫されています。どの領域も、学習の進め方がわかりやすく整理され、学びやすい教科書であると考えます。</p> <p>2点目は、デジタルコンテンツが充実しているという点です。作者やほかの作品、とらえにくい語句についての補助説明など、児童の学びの助けとなるコンテンツが数多く掲載されています。</p> <p>3点目です。「教育出版」は、現在使用している教科書ですので、これまで積み上げてきた教材研究を踏まえ、その上に教材研究を積み重ねていくことで、より深い教材研究となり、充実した授業につながると考えます。</p> <p>「光村図書」の主な理由は、</p> <p>1点目は、それぞれの単元や領域で学ぶことが巻頭や単元冒頭に整理され、児童が何を学ぶのか、どう学ぶのかを理解し、見通しをもって学習を進めることができる構成となっている点です。学習の手引きにおける学習過程が明確であり、問いや振り返りの観点も児童に分かりやすいよう示されているため、学びやすい教科書であると考えます。</p> <p>2点目は、作者による作品解説動画、古典教材の読み上げ、写真・図・飼料など、教材の理解を深めるデジタルコンテンツが充実している点です。教科書の文字だけでなく、様々な資料を活用して児童の理解を深めるために活用できるものであると考えます。</p>
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、協議に入ります。
委員	子供たちが主体的に学習していくには、学び方を活用することが大切だと思います。そのような観点から考えると、どうでしょう。
委員	児童が学び方を活用しながら学習していくことは、とても大事なことだと考えております。どの教科書にもそのような工夫がされていて、どの教科書にもそのような観点で取り扱っていると感じましたが、中でも教育出版は、他の教材教科で実生活にも活用できるよう工夫しているとか、生活場面で活用しているとか具体的な記述がありましたので、教育出版が一番ふさわしいと考えているところです。
議長	他にありますか。
議長	ありがとうございました。

ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、次に、書写の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長

これから、国語科 書写 の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。

東京書籍、教育出版、光村図書の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。

東京書籍の教科書ですが、2年生以上で書写の学習過程が「書写の学び方」として示されており、課題をみつけ、確認し、生かし、振り返るという流れがわかりやすく示されています。

また、3年生以上では、学習事項が確認できるインデックスがあり、学習内容が全体の中で確認できるように工夫されています。

さらに、様々な授業の場面に合わせたQRコンテンツが用意されています。

他にも、左利きや色覚特性の児童への配慮がされているなど、個に応じた工夫がなされています。

ここからは、3年生の教科書を使って説明します。

12ページをご覧ください。

「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」として、各単元で扱われる学習事項ごとのポイントを「書写のかぎ」として右下に配置されています。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」として、話し合う活動が意図的に組み込まれており、左上に向き合った二人のマークで示されています。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」として、児童が課題を見つけられやすいように、キャラクターが「どうなっているかな」などと問いかけの場面を設定しています。

12ページでは中央に記載されています。

「毛筆と硬筆との関連」については、鉛筆のイラストに3とある部分がそれにあたり、毛筆を使用する学習が、硬筆で書く力の基礎となるように構成されています。

「各教科や日常生活との関わり」としては、19ページをご覧ください。「生活に広げよう」という部分で生活に生かせるものを取り上げ、各教科と関連する場合は、右下にあるようなリンクマークが付けられ、明確に示されています。

資料の項目「学習意欲を喚起するための工夫」として、18ページをご覧ください。「文字といっしょに」の単元では、児童が興味や関心もてるような内容を取り扱っています。

「学習効果を高めるための工夫」として、右下のようなQRコードがすべての単元で記載されています。

「レイアウトの工夫」ですが、12・13ページにお戻りください。「書写のかぎ」・1・2・3・「ふりかえろう」などがページの決まった部分に割り振られ、見開きで完結するようになっています。

最後に、表記・表現の項目としては、シンプルな構成であり字形や配列等の分野ごとに色分けがされており統一感が出ています。

教育出版の教科書ですが、どの学年においても、写真や具体物のイラストを多く掲載し、児童の生活に基づいた例を挙げています。

また、児童が意欲的に学習できるよう、書くことよき、手書きのよきというものが様々な方法で紹介されています。

さらに、学習過程に系統性をもたせることで、知識・技能が段階的に習得できるようになっています。

他にも、手本の隣のページに指導事項などが細かく記載されていて、教師の指導はもちろん、児童が自ら学びを進めることができるような工夫がなされています。

ここからは、3年生の教科書を使って説明します。

17ページをご覧ください。

「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」として、めあてを示し、大切なことを理解し、書いて応用を図り、振り返るといった学習の流れになっています。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」として、右下にあるように「ためし書き」「まとめ書き」をすることで伸びが実感できるようにしています。

また、この「ためし書き」「まとめ書き」は、「毛筆と硬筆との関連」として、毛筆の前後に書くことによって、硬筆に生かせるようになっています。

43ページをご覧ください。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」として、自分のめあてに合った「選択」問題に取り組むことで、自分の学びたいことをさらに追及できるようになっています。

「各教科や日常生活との関わり」としては、23ページをご覧ください。はがきなど、日常の場面でも生かせるように工夫されています。

資料の項目「学習意欲を喚起するための工夫」として、23ページの暑中見舞いのように日常生活と関連付けられたものが「レッツ・トライ」として取りあげられています。

「学習効果を高めるための工夫」として、毛筆のお手本のページには、右下にQRコードが記載され、資料なども映像で見られるようになっています。

「レイアウトの工夫」ですが、20・21ページをご覧ください。写真やイラスト、筆圧の数値化などでわかりやすい工夫がされています。

最後に、表記・表現の項目としては、毛筆教材では、初めに手本を提示したり、同じマークを使用したりすることによって統一感が出ています。

光村図書の教科書ですが、主体的に、見通しをもって書写の学習に取り組めるように、巻頭及び全教材に「学習の進め方」を設けています。

また、各学年でSDGsを扱った項目があり、環境問題への喚起などにも触れられています。さらに、教科書に穴埋めで記入できる形式を取り入れています。

他にも、東日本大震災の新聞や、著名人の手書き文字など、多種多様な内容を扱うことにより、児童の興味関心を引くような工夫がなされています。

ここからは、3年生の教科書を使って説明します。

16ページをご覧ください。

「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」として、全教材に学習のポイントが、

一目でわかるように「たいせつ」として左下に記載されています。

「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」として、右下の「学習の進め方」で「考えよう」という課題を設定し、話し合う活動が盛り込まれています。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」として、各教材を見開きとして、または1ページ構成としているため、シンプルでわかりやすく、見通しをもって学習に向かえるようになっています。

「毛筆と硬筆との関連」については、毛筆で学習したことをもとに、右下の「学習の進め方」の「生かそう」の部分に硬筆欄が設けられています。

「各教科や日常生活との関わり」としては、24ページをご覧ください。「書写広げたい」として、他教科の学習に生かせるようになっています。

資料の項目「学習意欲を喚起するための工夫」として、45ページをご覧ください。書き初めなど書写に関係しているものの写真などを掲載し、児童の学習意欲を高めています。

「学習効果を高めるための工夫」として、QRコードには「写真」「動画」「アニメーション」の3通りが用意されています。

「レイアウトの工夫」ですが、16ページにお戻りください。朱墨の筆づかいが見やすい部分に、キャラクターとともに配置され、筆づかいの理解がしやすいようになっています。

最後に、表記・表現の項目としては、情報を精選し、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした表記になっており、お手本の隣にポイントが示されるなど統一感が出ています。

以上3つの発行者全ての教科書につきまして、国語科書写の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長                    ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局                学校調査結果について、目録順に読み上げます。  
東京書籍5票、教育出版22票、光村図書8票 以上でございます。

議長                    委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員                    第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員長            書写調査委員会では、教育出版と光村図書がよりふさわしいと考えます。  
教育出版は、現在、本採択地区で使用しております。写真やイラストなどが豊富で子供たちにとって視覚的に理解しやすいところが、使い勝手の良いところですが、また、日常生活の中で、既習した事を実際に生かせるように構成されているところも工夫された点だと考えます。

光村図書は、情報が精選され見やすいページ構成になっています。朱墨の筆づかいが大きく効果的に載っているため、子供たちにとって学びやすいところです。また、1・3年生に「ス

	<p>ターゲットブック」が構成され、最初に抑えるべき基本が確認できるところも工夫された点だと考えます。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>子供たちにとっては、基本から活用までの学習過程で、学習事項が確実に定着できる教科書がふさわしいと思います。そのような観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。</p>
委員	<p>どれも、大変わかりやすいテキストですが、あえて言うならば、学校でも教育出版が22票と群を抜いていることと、学習の流れを通して、学習内容の定着を図っているところが良いという印象を持ちました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。 調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、次に、社会・地図の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>社会科の調査結果を報告いたします。よろしくをお願いします。</p> <p>まず、東京書籍の内容についてです。（3年上2ページ・24ページ）</p> <p>「知識及び技能の習得」に向けてでは、学習上重要な語句を「ことば」として明示し、学習内容を確実に習得できるようにしています。</p> <p>「学び方コーナー」（29ページ）が随所に設けられ、関係図の作り方、思考ツールの活用の仕方、見学・取材の仕方などの具体的な例示を通して、情報をまとめる技能などを習得できるようにしています。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けてでは、「まとめる」場面で、新聞・キャッチフレーズ・漫画のセリフなど様々な言語活動を重視して知識の定着とともに、多様な表現力を身に付けることができるようにしています。</p> <p>「いかす」場面で、社会的な事柄に参画・提案できるように、自分たちでできることを考えたり、選択・判断したりする学習活動を位置付けています。</p> <p>「見方・考え方コーナー」で、社会における諸問題を解決するために必要な見方・考え方を「空間」「時間」「関係」に分け、提示しています。</p> <p>「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けてでは、問題解決的な学習を行う構成となっており、「ひろげる」で「さらに調べてみたい事柄」を例示し、学習者自身が主体的に諸問題と向き合えるようになっています。</p>

学習問題を立てるページには学習の計画の欄があり、調べる内容、調べ方、まとめ方が記載されていることで、見通しをもって学習を進めることができるようになっています。

「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材として、事例地の数が多いのが特徴です。第4学年では「さいたま市の見沼代用水」、第5学年では「川越市・狭山市の関東内陸工業地域」が取り上げられています。また、第6学年では「子育て支援の願いを実現する政治」でさいたま市と川口市、「日本の経済や産業の発展に貢献」で渋沢栄一を取り上げています。

次に、東京書籍の資料についてです。

「学習意欲を喚起するために」では、QRコンテンツが充実しており、働く人へのインタビュー動画や単元の導入動画など、映像資料を活用した授業が組み立てやすくなっています。

「つかむ」場面で、予想や学習計画を立てる活動を重視し、見通しをもった学習の進め方ができるようになっています。「まとめる」場面では、小単元の学習問題を再提示し、学習問題に立ち返った考察が促されています。

「学習効果を高めるために」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習の流れについて、それぞれの学習段階ごとに留意することや活動等を具体的に例示し、問題解決学習をわかりやすく進められるようになっています。

「レイアウトの工夫」では、ページごとに掲載されている資料は、「1、2、3・・・」とナンバリングされています。また、それらの資料を矢印でつなぎ、比較しやすいようになっています。

代表的な世界文化遺産および国宝を積極的に教材化し、わかりやすい国宝と世界遺産マークを設けています。

東京書籍の表記・表現についてです。

児童にとって読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な文字を用いています。また、6学年の教科書が、「政治・国際編」と「歴史編」の分冊となっており持ち運びの負担を減らすことができます。

東京書籍の教科書を総括すると、

単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の授業段階が示されており、問題解決的な学習を通して、主体的で深い学びを実現させようとした構成となっています。また、資料の配置や分量が適切で、紙面の読み取りが苦手な児童にとっても、適切な量と、読み進める順番が理解しやすいように作られています。

続きまして、教育出版の内容についてです。

「知識及び技能の習得」に向けてでは、本文における重要語句は「キーワード」欄にまとめであり、また、「解説」欄において難易語句がくわしく解説されています。

「学びのてびき」で、「集める」「読み取る」「表す」という情報収集の仕方や資料の読み取りの仕方が、学習の流れに即して習得できるようになっています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けてでは、「まとめる」ページで、リーフレット、白地図、思考ツール、キャッチコピー、文字カード、意見交換、表、関係図などの多様な表現

活動が例示されています。

社会的な見方・考え方として「時期や時間の変化」「場所や広がり」「くふうや関わり」「比べる」「関連づける」「総合する」の6つが示され、巻頭でわかりやすく解説されています。対話的な表現活動として、ICTを活用した方法や思考ツールを活用した表現方法などが多様に示されています。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けてでは、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の問題解決的な学習を行う構成となっており、各時間で出てきた新たな問いを次時で追究することができるような流れになっています。

各時間の学習活動の例示がなされており、見直しをもって本時の学習を進めることができるようになっています。

「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材は、第4学年の「見沼代用水と見沼新田の開発」でさいたま市、「秩父夜祭り」で秩父市が取り上げられています。第5学年では春日部市の「首都圏外郭放水路」、第6学年では行田市の「さきたま史跡の博物館」と「稲荷山古墳出土の鉄剣」、深谷市の「渋沢栄一」が取り上げられています。

次に、教育出版の資料についてです。

「学習意欲を喚起するために」では、これまで白黒写真であった資料が、カラー化した画像に差し替えられているものもみられ、読み取りやすい資料となっています。

50cmの大判の資料・想像図が15か所あり、子供たちが意欲的に資料を読み取ることができるようになっています。

「学習効果を高めるために」では、動画、ワークシート、補助教材、クイズ式教材などの豊富なデジタルコンテンツを使用することで、必要な資料を効果的に活用することができるように工夫されています。

「レイアウトの工夫」では、見開きページの中に、中心的な写真資料が大きく配置され、数多くの資料が提示されています。資料に「ア、イ、ウ・・・」と記号が付けられ、思考が整理しやすいようになっています。

文化遺産を数多く取り上げていて、国宝、重要文化財、世界文化遺産にはマークを付けて紹介しています。

教育出版の表記・表現についてです。

UD教科書体を使用し、フォントやポイントの違いにより、本文と資料、子供のノート例などを見分けやすくしています。該当学年以上の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には、見開きごとに「ふりがな」が付され、一文が数行にわたる場合には読みやすい箇所で行改行されています。

教育出版の教科書を総括すると、問題解決型学習の流れに沿った構成となっており、「この時間の問い」と「次につなげよう」が各時間に設定されることで、本時のページと次のページのつながりが明確に示され、児童の思考の流れをスムーズにしたり、児童が社会的事象の連続性を捉えたりすることができるように工夫されています。

最後に、日本文教出版の内容についてです。

「知識及び技能の習得」に向けてでは、本文における重要な語句が太字になっており、その

語句は「キーワード」欄において解説されています。さらに検索のアイコンで難易語句の解説がされています。

「学び方・調べ方コーナー」で、白地図への記入の仕方、グラフの読み取り方、見学の仕方などの資料を活用し、問題解決を追究していくための技能が習得できるようにしています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けてでは、「まとめる」場面では、子供同士が学習問題について発表し合う活動の様子がマンガ形式で例示されており、思考や学びを深めるための具体的な手立てとなっています。

児童の発展的な問題解決学習の教材として、「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」のページが特設されています。

学習問題を追究・解決していく手立てとなる「社会的な見方・考え方コーナー」が、空間、時間、関係、の3つの視点で示されています。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けてでは、「コラム」「やってみようコーナー」があり、児童の学びに向かう姿勢を高めることができるようになっています。

学習問題を立てるページには学習の計画の欄があり、調べる内容、調べ方などが記載されていることで、見通しをもって学習を進めることができるようになっています。

「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材は、第3学年の「市の様子とくらしのうつりかわり」で川越市、第4学年では熊谷市の「荻野吟子」、第6学年では行田市の「稲荷山古墳」と「安心してくらし続けられるまちづくりに向けて」で川口市が取り上げられています。

次に、日本文教出版の資料についてです。

「学習意欲を喚起するために」では、現代的な諸課題について、地域の対応や取組が紹介されていて、子供が課題を自分事として捉え、より良い未来をつくるために考えられるようになっています。

SDGsを通して、日本や世界で見られる諸課題への意識を高められるよう、「考えよう！SDGs」や「貼ってはがせるSDGsの目標シール」で楽しく取り組める工夫がされています。

「学習効果を高めるために」では、「深め合い活動」が「学習問題の設定」や「さらに考えたい問題」の交流場面において示され、自分の考えを拡大、改善、確信することで深い学びにつなげられるよう工夫しています。

「レイアウトの工夫」では、読解しやすいように、本文を学習活動・学習内容・友達の発言の3つの役割ごとにわかりやすく示しています。

ページ上部にメイン資料、見開き左右に補助資料、中央に本文、といったレイアウトが共通して採用されています。

日本文教出版の表記・表現についてです。

文字は、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」が使用されています。当該学年以上の配当漢字には、すべて振り仮名が付いていて、児童の発達段階に応じた表記がされています。

	<p>日本文教出版の教科書を総括すると、 問題解決的な学習を支える単元構成になっているため、授業づくりの参考になったり、基礎的基本的な知識を身につけたりすることがしやすいような展開となっています。本文中や児童イラストの吹き出しにおいても、児童の思考や資料読み取りの意見が書かれており、問題解決的な学習を進める手がかりとなるように構成されています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。</p>
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。 社会科「東京書籍16票、教育出版19票、日本文教出版4票」以上でございます。</p>
議長	<p>社会の質疑・協議を行います。委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して質問はありますか。</p>
委員	<p>第18採択地区の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。</p>
調査員長	<p>「東京書籍」と「教育出版」です。 「東京書籍」も「教育出版」も、渋沢栄一についての資料が掲載されています。深谷市の地域の偉人であり、次期1万円札の肖像画にも決まっている渋沢栄一翁を、教科書でも学ぶことができます。「東京書籍」は「ひろげる」の学習過程で渋沢栄一を教材化しており、「教育出版」は、「調べる」の学習過程の一資料として渋沢栄一を取り上げています。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて、社会の協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>社会は、地図や写真などの資料が大きく、多く掲載されていると、児童の興味・関心を強く引くと思います。そのような観点からみていくと、どうでしょう。</p>
委員	<p>子供の興味関心をひくという観点は重要だと思います。 そういう観点で各教科書会社を見ますと、資料が数多く掲載されている教育出版がいいのではないかと考えます。</p>
委員	<p>学校段階によると、東京書籍と教育出版では、若干教育出版が多くなっています。 子供たちを前にしている教員からは、使い勝手がいいという感想を含んでいると思われます。 子供の課題を「発見する、追及する、解決する」というプロセスの中で、資料を活用しながら学べる観点と、学校の使い勝手をふまえると、教育出版がいいのではないかと考えます。</p>

議長 ありがとうございます。ここで、社会科の協議を打ち切ります。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 続いて、地図の報告をお願いします。

調査員長 地図の調査結果を報告いたします。

まず、『新しい地図帳』東京書籍の内容についてです。

「知識及び技能の習得」では、巻頭で、地図帳の導入として基本（方位・地図記号・凡例・距離・索引・縮尺など）が丁寧に学べるようになっています。

日本の歴史を学びながら、同じ時代の世界の様子を捉えることができるように、年表と地図が同じページに記載されています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けてでは、それぞれのページでキャラクターたちが、「〇〇してみよう」や「〇〇になっているね」といった台詞を述べていて、児童の思考を整理する手助けをしています。

防災教育への対応として、日本の自然災害について深く考えることができるように、日本列島全体の自然災害地図が掲載されています。

国際理解教育として、それぞれの国を比較するための視点となるように、世界の民族衣装や生活文化について掲載されています。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けてでは、地図全体に、問いと作業から構成される「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」が掲載されており、地図を見て楽しみながら学習できるよう、クイズや作業が数多く盛り込まれています。

児童の到達度を計ることができる「がんばりシート」が、二次元コードからアクセスできるようになっています。

「特記すべき教材や教科の特性」では、外国語や家庭科、道徳などの教科で活用ができるように、国名や産物の英語表記、日本の伝統文化など、多様な資料を掲載しています。各地方の産業をわかりやすくイラスト入りで示しており、地図帳で得た知識を他教科との学習に結び付けやすくなっています。

地域の産業や伝統文化に親しめるように、また、他教科との学習につなげられるように、農産物や工業製品、伝統工芸品などが数多く掲載されています。特に、渋沢栄一記念館、深谷の特産である「ブロッコリー・ほうれん草・チューリップ・ねぎ・ゆり」の農産物が掲載されていることで、地域への関心が高められます。

次に、東京書籍の資料についてです。

「学習意欲を喚起するために」では、索引にはチェック欄が設けられていて、地図上で見つけた地名をチェックすることで、児童が地図帳を活用するための意欲を高めています。

「学習効果を高めるために」では、日本と世界の山や川などが並べて掲載されているため、目で見て比較することが容易にでき、学習効果を高める手助けとなっています。

京都や東京を中心に、様々な縮尺の地図が掲載されています。

「レイアウトの工夫」では、主題図には地形・気候・産業・伝統文化などの多様な地図が掲載されていて、それぞれの主題図は、できる限りページ単位で区切り、見やすくなるように工夫されています。

東京書籍の表記・表現についてです。もくじ欄には、「広く見る地図」「地方別に見る地図」「詳しく見る地図」など、種類ごとにアイコンが決められているため、用途に応じて作業できます。

緑は田・畑、赤は果樹園、黄色は市街地など、土地利用ごとに色分けがされています。

東京書籍の地図を総括すると、どのように地図を読み取ったり、活用したりすれば良いのかが、丁寧に解説されているため、教師は授業づくりに役立てることができます。また、陸の高さや、海の深さといった地形の様子まで、詳細に色分けされています。

続きまして、『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』帝国書院の内容についてです。

「知識及び技能の習得」に向けてでは、巻頭から13ページにわたって「地図の約束」「地図帳の使い方」において、方位、地図記号、土地利用、縮尺と距などがわかりやすく解説されています。

3年生向けの「トライ」が5箇所あり、全11問用意されています。「トライ」を解くことで、地図帳を活用できる知識や技能を身に付けられるように工夫されています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けてでは、3人のキャラクターたちが、それぞれのページで質問を投げかけており、児童は思考を整理することに役立てられます。

学校の周りの「防災マップ」の具体的な作り方が掲載されており、自らの身を守るために何ができるかを考えられるようになっています。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けてでは、「地図マスターへの道」が掲載され、児童の関心や資料活用能力を高める問題があり、児童が各自で目標をもって主体的に取り組むことができるようになっています。

アニメーションによる解説やクイズ、動画やVR画像など、資料活用や学習意欲を高めるQRコンテンツが収録されています。

地図帳全体がSDGsを学ぶ題材として活用できるように、アイコンが随所に設置されていたり、地球全体の課題として把握し、自分事として解決策を考えられるようにSDGsの特設ページが設けられたりしています。

「特記すべき教材や教科の特性」では、地域の産業や伝統文化に親しめるように、また、他教科との学習につなげられるように、農産物や工業製品、伝統工芸品などが数多く掲載されています。特に、渋沢栄一翁の生地、深谷の特産である「きゅうり・ねぎ・チューリップ・ユリ」の農産物、寄居町の寄鉢形城跡が掲載されていることで、地域への関心が高められます。世界地図のページは、「ミラー図法」「ランベルト正積方位図法」の2つの図法で表記されています。

次に、帝国書院の資料についてです。

「学習意欲を喚起するために」に向けてでは、「地図で世界発見!」「地図で日本発見!」「広く見わたす地図」では、3年生の発達段階に合わせた地図学習の要素が精選されています。

	<p>「学習効果を高めるために」では、歴史学習や、他教科でも活用できるように構成されています。歴史学習では、歴史事象を地理的な空間の広がり結び付けることで、深く学習できるようになっています。</p> <p>「レイアウトの工夫」では、縮尺を正しく読み取らせるために、実際の距離を示した「ものさし」が掲載されているページがあります。</p> <p>次に帝国書院の表記・表現についてです。</p> <p>地名を正しく読めるように、全ての地名に振り仮名が記されています。</p> <p>緑は田・畑、赤は果樹園、黄色は市街地などのように、土地利用ごとに色分けがされています。</p> <p>帝国書院の地図を総括すると、高学年に向けたページでは、土地の高さによって色分けがされていたり、校外学習の際に使用しやすいように中心部を拡大したページが設けられたりしています。それぞれの学年、立場に視点を当てたページが用意され、目的によって様々な方法で利用することができるように配慮されています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。</p>
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>地図「東京書籍4票、帝国書院24票」以上でございます。</p>
委員	<p>今、使用しているのは帝国書院で、子供たちは使い慣れています。今回改訂された教科書は、今までのものと比べてどうでしょうか。</p>
調査員長	<p>帝国書院は、先ほども言いましたが、渋沢栄一翁の生地や鉢形城跡といったような、地域への関心が高められる場所が掲載されているため、児童にとって馴染みやすく使い勝手が良いです。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて、地図の協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>地図は、立体感のある色合いだと、子供たちにとって視覚的にイメージしやすいと思います。このような観点からみていくと、どうでしょう。</p>
委員	<p>配色を見ると、より分かりやすい配色、子供たちが見て、比較的地形をイメージしやすいのは帝国書院だと思います。</p> <p>地図をより広範囲で示せるようになっていて、地域との間のつながりを意識できるという印象を持ちました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、地図の協議を打ち切ります。</p> <p>調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>

議長	<p>それでは、これより選定に入ります。なお、選定は投票によるものとなっております。投票の仕方について事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>投票について説明いたします。本規約第11条、「各委員が選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得たものを選定する。」より行うものです。</p> <p>投票により</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過半数を得た教科書を選定します。</li> <li>・3票ずつ2者に割れた場合は会長が決めます。</li> <li>・過半数を得なかった場合は上位2者で再度投票を行います。</li> <li>・上位2者が選べない場合は会長が2者を決め、再度投票を行います。</li> <li>・再度投票の結果、過半数を得た教科書を選定します。</li> <li>・投票数が同票の場合は、会長が決めます。</li> </ul> <p>以上が選定に係る投票の説明となります。</p> <p>このあと、事務局が投票用紙を配付いたします。</p> <p>お手元に、投票用紙が配られましたら、その発行者の中から1者を選び、ボールペンで丸をお付けください。丸以外は無効票となりますので、お気をつけください。その際、先ほど用いたメモ用紙を参考に丸をお付けください。なお、後ほど、事務局が投票箱をお持ちしますので、投票用紙を1回折ってお入れください。</p>
議長	<p>ただいまの説明につきまして、質問はありますか。</p>
議長	<p>それでは、投票を行います。事務局は準備願います。</p>
議長	<p>それでは、開票結果について、事務局から報告願います。</p>
事務局	<p>開票いたします。</p> <p>国語 教育出版 書写 教育出版 社会 教育出版 地図 帝国書院      国語 教育出版 書写 教育出版 社会 東京書籍 地図 帝国書院      国語 教育出版 書写 教育出版 社会 教育出版 地図 帝国書院</p> <p>以上でございます。</p>
事務局	<p>国語、書写、社会、地図の開票結果をご報告いたします。</p> <p>国語、東京書籍0票、教育出版6票、光村図書0票。      書写、東京書籍0票、教育出版6票、光村図書0票。      社会、東京書籍1票、教育出版5票、日本文教0票。</p>

	<p>地図、東京書籍0票、帝国書院6票。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>それでは、確認致します。</p> <p>国語は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。</p> <p>書写は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。</p> <p>社会は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。</p> <p>地図は帝国書院が過半数を得ましたので帝国書院を選定いたします。</p>
議長	<p>ここで休憩時間をとります。</p> <p>事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。</p>
事務局	<p>会議の再開時刻を 11 : 15 とします。</p>
議長	<p>それでは再開いたします。それでは次に、算数の報告をお願いします。</p> <p>ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>これから、算数科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p>東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。</p> <p>東京書籍の教科書ですが、単元内の紙面構成を工夫しており、単元前半では、吹き出しや補助発問等を丁寧に設定して、後半は吹き出し等を段階的に減少させていくことで、身に付けた資質・能力を駆使して高めていけるように工夫されています。さらに、児童が考えることを重視し、丁寧さを継承しつつ、紙面のシンプル化も図っています。</p> <p>また、単元末の「学習のしあげ」は、単元のゴールを押さえることができ、学習の定着の確認及び授業づくりの際にも有効なページとなっています。</p> <p>主な特徴について、5年上巻の教科書で説明させていただきます。</p> <p>2ページをご覧ください。巻頭コラム「私と算数」では、世界レベルで活躍される方々の算数との関わりを知ることで、算数の身近さや有用性を味わい意欲を高めるようにしています。</p> <p>10ページをご覧ください。ページ右上や中段にあるように「同じように考えると」という吹き出しがあり、既習を生かして考えようとする態度や力を育む工夫がされています。</p> <p>17ページをご覧ください。「それなら」の吹き出しでは、発展的に考え理解を深めたり、見方・考え方の価値を才覚にしたりとより深く学ぶことができるように工夫されています。</p> <p>142ページをご覧ください。各学年の巻末には「ふりかえりコーナー」があり、学習に必要な既習内容がわかりやすくまとめられています。</p> <p>大日本図書の教科書ですが、児童が考える楽しさを味わい、主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的で丁寧な紙面構成になっているとともに、巻頭に数学的な見方・考え方を示し、思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるような工夫がされています。</p>

また、単元末の「たしかめ問題」は知識・技能の確実な定着を目指す工夫がされているページとなっています。

主な特徴について、6年の教科書で説明させていただきます。

10ページをご覧ください。2年生以上の各巻頭には、「算数の大切な考え方」があり、様々な場面で使える、見方・考え方が整理されています。

11ページから15ページには、「ひらめきアイテム」のページがあり、学習のヒントがまとめられています。20ページをご覧ください。真ん中より少し下に鍵マークがある、「ひらめきアイテム」と書かれているものが、11ページから15ページまでにつながっており、進んで学べるようになっております。

141、142ページをご覧ください。単元末の「たしかめ問題」では、はじめに「しっかりチェック」のコーナーがあります。また、「見方・考え方をたしかめよう」コーナーでは、問題解決に用いた見方・考え方、自分や他者の考えを表現する場面が設定され、「学んだことを生かそう」のコーナーでは、発展的な学習問題もあり、習熟度に応じて学習できるようになっています。

学校図書の教科書ですが、生活や学習の中から問題や疑問を自分たちで発見し、学んだ知識・技能を確認・活用する中で、新たに問いを提示していくなど、児童に寄り添った展開が工夫され、学びの連続性を感じながら主体的・対話的に学習を進められる構成になっています。

また、児童の問いが次の学びにつながる場面では、問いを吹き出しの形で示し、次の学びへの関心・意欲を高めるように工夫されています。

主な特徴について、5年上巻の教科書で説明させていただきます。

12ページをご覧ください。単元のはじめに「はてなを発見」で、児童に身近な話題から問題を発見し、算数の課題とつなげられるようにしています。

9ページにお戻りください。算数の学びに重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」として表し、楽しみながら9つの考え方を使いやすくしています。例えば、17ページをご覧ください。そろえることのよさを中段の「ソロエ」のキャラクターで説明しています。

34ページをご覧ください。「ふりかえろう」には、「はてなをかいけつ」「つなげたいな」のコーナーがあり、学びを深め、新たな疑問がもてるようにしています。

35ページをご覧ください。2年生以上には、「算数パトロール隊」のページで、つまずきやすい部分やつまずきにくくする学び方などが掲載されています。

教育出版の教科書ですが、見いだした数学的な見方・考え方を顕在化して単元末で活用するとともに、巻末「学びのマップ」で、学年を超えて既習事項を振り返ることができるようにするなど、学びのつながり・深まりを実感できる構成になっています。

また、児童の問いを重視し、「はてな」「なるほど」「だったら」で学びを進め、問題発見力・問題解決力・問題追究力を育てるよう構成されています。

主な特徴について、6年の教科書で説明させていただきます。

16ページをご覧ください。ページ上段の「つながるミカタ」は、単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を顕在化し、後半の学習でもう一度活用することで学びの深まりを実感

できるようにしています。

25と27ページをご覧ください。25ページの「はてな」、27ページの「なるほど」「だったら」で、問題発見・解決の過程が自然なかたちで進ように工夫されています。

19ページをご覧ください、一番下に「算数のひろば」。続けて、30ページをご覧ください。一番下に「よくあるまちがい」。最後に103ページをご覧ください、同じく一番下に「もっとやってみよう」を設け、学習を広げたり実生活との関わりに触れたりできるコーナーが設けられています。

啓林館の教科書ですが、価値付けたい数学的な見方・考え方を強調したり、学び合いで深めたい点を可視化したりするとともに、学びのつながりを重視することで、数学的な見方・考え方を軸とした「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりができるように工夫しています。

また、既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成で学びやすくし、確かな理解の定着が図れるように「練習」「復習」のコーナーを設け工夫しています。

主な特徴について、5年の教科書で説明させていただきます。

9ページをご覧ください。各巻頭の「考えの進め方」では、今まで使ってきた数学的な見方・考え方が整理されており、新しい学習でも生かせるようにしています。

10ページをご覧ください。単元のはじめの「じゅんぴ」は既習事項を確認してから新しい単元の学習が始められるようにしています。

17ページをご覧ください。キャラクターの吹き出しがハイライトで強調されている部分は、数学的な見方・考え方に関わる部分となっております。

28ページ、29ページをご覧ください。各単元末には、「たしかめよう」で知識・技能の定着を図り、「ふりかえろう」「やってみよう」で学んだことを生かして次の学びに進む態度を身に付けられるように工夫されています。

日本文教出版の教科書ですが、ページの側注に学習のステップを示したり、巻末の「学び方ガイド」によって算数の学び方を示したり、筋道を立てて考えるための着眼点になる「見方・考え方」を配置したりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現につながる構成になっています。

また、単元末に「学習をたしかに」を設け、児童のつまずきや数学的な見方・考え方の成長を意識した構成になっています。

主な特徴について、6年の教科書で説明させていただきます。

11ページをご覧ください。新しい単元に入る前に「次の学習のために」が設けられ、これから学習する内容に関わる既習事項を確かめることができるようになっています。

21ページをご覧ください。「めあて」の近くに、「見方・考え方」を配置し、見通しを立てたり、筋道を立てて考えたりするための着眼点を示しています。

18ページをご覧ください。各時間に「めあて」「まとめ」が設けてあることで、学習内容が焦点化され、学習の流れがよりわかりやすくなっています。

251ページをご覧ください。巻末の「算数マイトライ」では、基本的な問題、応用発展的な問題、探究的な問題の3つで構成され、児童の実態に応じて柔軟に取り扱うことができるよ

	うになっています。
	以上、6つの発行者全ての教科書につきまして、算数科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。
議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	学校調査結果について、目録順に読み上げます。 東京書籍2票、大日本図書2票、学校図書3票、教育出版3票、啓林館4票、日本文教出版5票 以上でございます。
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
議長	第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。
調査員長	東京書籍と啓林館が、よりふさわしいと思われる発行者です。
議長	ご説明をお願いします。
調査員長	東京書籍は、単元前半では、吹き出しや補助発問等を丁寧に設定し、後半は吹き出し等を段階的に減少させる部分が、指導と学習に生かれます。オープニングムービーやたしかめようの正誤判定も生かれます。 また、啓林館は、教科書内において関係図を活用していて、児童の理解と教師の指導に生かすことができます。
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等をお願いします。
委員	細部まで配慮されている教科書が、第18採択地区の子供たちにとって、ふさわしいと思います。この観点から考えると、どうでしょう。
委員	東京書籍は、発達段階に応じた配慮がしっかりなされていると感じました。
委員	吹き出しの「それなら」は児童の意欲を引き出すための工夫がよく考えられていると思いました。
委員	算数という教科の特性からも、細やかな配慮が大切で、しっかりとやっていかなければなら

ないと思います。そういう点で、どの発行者も、習熟別の指導を取り入れた課題解決や、個に応じた指導が用意されています。

また、間違いやすい問題が單元ごとに終盤に置かれて工夫されていると思いました。その中で、東京書籍は補助発問や吹き出しの設定に、特性があると感心しました。

各単元の練習問題と対応した補充問題が、難易度別に2種類設定されていて、個別最適化された学びに活用できるようになっていることから、東京書籍が一番ふさわしいと思いました。

議長

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、次に、理科の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長

これから理科の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいたします。

東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版、啓林館の教科書につきまして、報告いたします。

それぞれの教科書について、内容、資料、表記・表現、総括という順に報告いたします。

まず始めに、「東京書籍」について6年生の教科書を使いながら説明いたします。

内容については、実験・観察のページには、63ページの右上にあるような動画資料やデジタルワークシートを見ることができるQRコードが随所に掲載されており、コンピュータを使って利用する資料が充実しています。

また、170ページ中段にあるとおり、問題解決の力を重点的に育成する場面を「のぼそう！理科の力」のマークで示すことで、児童がじっくり考え、力を伸ばすことができるよう工夫されています。

さらに173ページにあるように、単元末の「こんなところにも！理科の世界探検部」では、学習したことが生活のどの場面で活用されているか紹介しており、理科を学ぶことの有用性を感じることができるようになっています。

資料については、QRコードが吹き出しで示されているので、どのタイミングでデジタルコンテンツを利用したら良いのかが、よりわかりやすくなっています。

また、159ページの一番上にあるとおり、前の時間の学習がそのまま次の学習の問題につながる場面では矢印で、前のページの前時のまとめと次時の問題をつなぎ、継続して思考できるよう工夫されています。

表記・表現については、アイコンや学習過程、問題、まとめなどが大きな文字で表記されており、問題解決の流れに沿って児童が円滑に学習できるように工夫されています。

また、全体的に原色に近い濃い色合いが多用されており、文字の大きさも大きいものが多いです。特に見出しについては色と文字の大きさに目立つように工夫してあります。

総括としては、問題解決型の学習が円滑に進められるように、学習過程が明確となるよう記

述やレイアウトが工夫されている教科書です。

また、きれいな写真や豊富なデジタルコンテンツなどをA4判の大きな紙面を生かして配置してあり、児童の興味・関心を高めることができる教科書となっています。

続きまして、2者目の「大日本図書」について4年生の教科書を使いながら説明いたします。内容については、60・61ページにあるとおり、予想の後、「計画を立てよう」が別枠で設けられており、自分の予想を確かめるためにどのようなことを調べれば良いのか考えることで、思考力等の育成を図る工夫がされています。

また、211ページ巻末の「理科の学びに役立てよう」は、理科を学ぶ上で必要な知識、技能だけではなく、他教科とのつながりなどがまとめられており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

さらに、49ページのものづくり「作ってみよう」では、右下のQRコードから作り方について解説動画を視聴できるようになっています。

資料については、単元末の「たしかめよう」と「学んだことを生かそう」という2段階で、知識、技能だけではなく、思考力、判断力、表現力についてもしっかり身に付けられるよう工夫されています。

また、随所にある「りかのたまてばこ」というコーナーには、SDGsや仕事、環境、防災等に関連した記事が掲載されており、理科と日常生活や実社会との関わりについて興味関心が高まるよう工夫されています。

表記・表現については、2・3ページにあるように、問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と大きく示し、色分けもして視覚的に伝わりやすくしてあります。また、問題や実験などの見出しに大きい文字を使用するとともに、本文については小さめのはっきりした文字を使用して読みやすくしてあります。

総括としては、適度な大きさの文字と、落ち着いた色、レイアウトの工夫やアイコンにより、問題解決の過程がわかりやすく示されている教科書です。また、実験の方法も大きく示されており、児童にとってわかりやすいづくりの教科書です。

さらに、A4判の大きな紙面を生かして、大きな写真などを配置し、興味関心を高めるとともに、文字の間隔をあけ、余裕をもったづくりの教科書となっています。

続きまして、3者目の「学校図書」について6年生の教科書を使いながら説明いたします。内容については、158・159ページにあるとおり、技能の確実な習得を図るため、実験方法や実験器具の使い方には、細かくチェックすることができるチェック欄を設けるなどの工夫がされています。

また、29ページ上段にあるように実験や観察で得られた知識や技能を生かせるような、発展的な学習活動やものづくりに取り組むことができるよう工夫されています。

さらに51ページ下の「できるようになりたい」、単元末の「できるようになった」(65ページ)では、その単元において、特に重点的に身に付けたい資質・能力がキャラクターと共に掲載されており、効率的に理科の見方・考え方を使って学習できるよう工夫されています。資料については、93ページ一番下の表のように、随所で本書自体がワークシートのように書きこめるようになっており、教科書の内容を確認しながら学習に取り組めるよう工夫されてい

ます。

また、教科書の縦の長さがB5サイズですが、全体的に小さめの文字を使用してA4サイズと同程度の情報量を確保しています。

表記・表現については、登場するキャラクターの発言が、児童の発達段階に合わせて、親しみやすい言葉づかいで表記されています。

また、理科に関する大切な用語などについては、ゴシック体の太字を使用し、目立つよう工夫されています。

総括としては、本書は、児童が主体的に学ぶことができるよう、「理科の世界をキャラクターと一緒に冒険する」といった親しみやすいテーマで書かれている教科書です。

また、それぞれの学習過程で、自己評価や進捗確認ができるようチェック欄等が設けられているので、一つ一つ確認しながら学習を進めることができるようになっていきます。さらに、身に付けたい資質・能力を単元毎に示し、理科の見方・考え方を使いながら学習を進めることができる教科書となっています。

続きまして、4者目。第18採択地区で現在使われております「教育出版」について6年生の教科書を使いながら説明いたします。

内容については、5ページにあるとおり、教科書の最初に国語科で学んだ力を生かすことができるようなページが設定されており、学年ごとに大切にしたい言葉や表現などをしっかりと押さえています。

また、168ページの中段にあるとおり、実験結果から考察する場面で、キャラクターによる会話がヒントとなるとともに、「考え方のカギ」と明記してわかりやすく示しています。

さらに150ページの左下にあるとおり、単元の最初に「学習のつながり」として小学校だけでなく中学校での関連する学習も明記し、学習が系統的に進んでいることを意識できるよう工夫されています。

資料については、学習に関係のある資料を「資料」、身の回りのものと関係がある資料を「科学のまど」と表示して図や写真と共に随所に掲載し、学習意欲を高めることができるようになっています。

また、165ページにあるように、問題解決の流れとは別に実験の手順をオレンジで示し、それぞれ別の種類・色の矢印にして、実験が問題解決の流れとは別の、一つの手段であることを意識できるよう工夫しています。

表記・表現については、新出用語は太字と黄色ラインで強調して表記するとともに、全体的に大きくはっきりしたフォントで表記しています。

さらに、安全に対する配慮が必要な場面には、危険マークと注意すべき説明を赤字で記載しており、注意事項が視覚的に捉えやすくなっています。

総括としては、見やすい文字や色、レイアウトの工夫などにより問題解決の過程を分かりやすく示すとともにQRコードを適度に配置するなど、デジタルコンテンツを適切な場面で使用するよう工夫されており、授業の中で使いやすい教科書です。

また、「見方のカギ」「考え方のカギ」を示していたり、学習の系統性を意識させたり、教科書を通して理科の見方・考え方が身に付くような教科書となっています。

続きまして、5者目の「信州教育出版」です。こちらは見本の教科書がないため、編修趣意書等を用いて調査した内容について報告いたします。

教科書には観察・実験の結果の考察等を言語化して表現するための「学習カード」が掲載され、それを利用することで知識・技能の定着が図れるように工夫されています。

また、単元で学習した内容を確認するためのQRコードがあり、そこから問題に取り組むことで、基礎的・基本的な事項の定着を図れるように工夫されています。

さらに、同一の実験を複数回、または複数の実験方法で検証する例が示されている「やってみよう」というページを設定することで、科学的な見方や考え方を育てる工夫がされています。資料については、単元の最初に見開きの写真や絵図を配置し、学習の概要をリード文で示すことで、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されています。

表記・表現については、初めて出てくる理科学的な用語はゴシック体で示す工夫がされています。

総括としては、問題解決型の学習が進められるように、学習過程が明確となる記述やレイアウトが工夫されている教科書です。

続きまして、6者目の「啓林館」について6年生の教科書を使いながら説明いたします。

内容については、111・112ページにあるとおり、単元の終わりに、「まとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」があり、知識の習得を図るとともに、身に付けた知識を活用してどんなことができるかを考えさせる工夫がされています。

また、112ページの中段右側にあるように、単元の終わりに掲載されている「スマート解説」のQRコードで解説動画を視聴でき、理解を深めることができるようになっています。

さらに、171ページにあるような理科以外の他分野と関連した教材を多く配置することにより、理科が果たす役割等を幅広く学習でき、理科の必要性を実感できるよう工夫されています。

資料については、巻末にコンピュータを使って問題に回答する「WaCBT」というページを設定し、コンピュータを利用した学力調査の練習ができるようになっています。

また、106ページ下段にあるように、前時と本時をつなぐ「もっと知りたい」という表記と矢印を必要な場面に適切に配置するなど、学習の連続性を考慮したつくりとなっています。表記・表現については、全体を青い色で統一するとともに比較的小さい文字、薄い文字などを使って構成しています。

また、問題については太字、まとめについては濃い色の文字を使用してわかりやすいよう工夫しています。

総括としては、シンプルなレイアウトや控えめなキャラクター、小さな文字で全体が構成されており、落ち着いて学習に向かうことができるよう工夫された教科書であり、教科書自体の大きさが小さく、児童が持ち運ぶ際の負担が少ない教科書です。

さらに理科と日常生活や実社会、他教科等との関連情報が多く、理科を学ぶ有用性や必要性が十分実感できる教科書となっています。

以上、5つの発行者の教科書について、理科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>東京書籍 9 票、大日本図書 5 票、学校図書 1 票、教育出版 2 2 票、信州教育出版 0 票、啓林館 2 票 以上でございます。</p>
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
委員	第 1 8 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2 ～ 3 者あげるとするならば、どの発行者でしょう。
調査員長	<p>理科調査委員会では、「教育出版」「東京書籍」がよりふさわしいと考えました。</p> <p>「教育出版」は、第 1 8 採択地区で今現在使われております。</p> <p>他の学年との学習のつながりや単元内での問題解決の過程や学習のつながりなど系統性をしっかりと意識して作られており、中学校までも見据えて、全学年を通じて問題解決能力や知識技能を高める工夫がされています。また、他教科との関連も丁寧に扱っており、小学校の教師にとって授業がしやすい教科書となっています。</p> <p>また、児童の思考を妨げない程度の適度な表記・表現、適切な場面での適度な I C T の活用、児童の問題意識を喚起するような単元導入の工夫、大きすぎない教科書サイズなど、児童にとっても学習しやすい教科書となっています。</p> <p>「東京書籍」は、以前の学習とのつながりや単元の中での問題解決の過程をしっかりと押さえ、問題解決能力を高めるよう工夫された教科書となっています。</p> <p>また、大きな写真や文字、色などをたくさん使ったインパクトのある紙面で児童の興味関心を高める工夫がされた教科書となっています。さらに Q R コードをたくさん配置し、随所で学習に関連するデジタルコンテンツを用意するなど、教科書だけでなく I C T も活用して学習を進めることを強く意識した教科書となっています</p>
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでも踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。
委員	理科は、探究的な学習につながるような学習内容で構成されている教科書が、ふさわしいと考えます。このような観点で調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。
委員	委員長報告にもあったとおり、教育出版には、「科学のまど」が設定されており、児童が授業とは別に、興味関心を生かして自分自身で探究活動を進められるような工夫がなされているところが良いと感じました。

委員	<p>探究的な学習は大変、大事だと思いました。委員長さんがおっしゃったとおり、探究の進め方について分かりやすく解説されているのは、学校から使い勝手が良いと支持されている教育出版かと思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、次に、生活科の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>これから、生活科の調査結果の報告をいたします。内容、資料、表記・表現等について調査を行いました。よろしくお願いいたします。</p> <p>東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版、光村図書、啓林館、7つの発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。</p> <p>東京書籍の教科書です。ダイナミックな活動写真や挿絵で学習活動を示し、児童の興味や関心、学習意欲を引き出し、思いや願いをもって主体的に学習が展開できるよう構成されています。ページの初めに配置された本文に活動のめあて、その下に主な評価規準を示すマークで表し、単元内でのバランスのとれた評価計画と共に、目標と評価を一体化し分かりやすいようになっています。</p> <p>挿絵の吹き出しは、育てたい資質や能力に沿った言葉が示されています。また、登場キャラクターを中心に、対話を示した場面やICT機器の活用、掲示物や板書例など、学習活動を可視化することで具体的なイメージをもって生き生きと活動し、深い学びができるよう工夫されています。さらには、折りたたみ絵本、新聞、ランキング等多様な表現方法が提示されると共に、注目すべきところや表現のポイントを書いた学習カードが多く示され、それらをもとに自分の活動を振り返り、表現し考えることで気付きの質を高められるよう工夫されています。</p> <p>大日本図書の教科書です。ダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストで、児童の興味や関心、活動への意欲や期待を引き出す工夫がされています。見開きの構成で、単元名・活動内容が示され、児童がイメージや見通しをもって活動が展開できるよう工夫されています。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」や登場キャラクターにより安全面や思考を促すヒントが投げかけられ、知識や技能が習得できるよう工夫されています。また、「せいかつことば」が設定され、言語活動の充実が図れるようになっています。さらには、書き込み欄が多く、自分の思いを文字にしたり、友達と考えを比べたりしながら、活動の振り返りや自分の成長を実感できるよう工夫されています。多様な表現方法や交流場面、環境構成例なども繰り返し取り上げられ、児童が気付きを共有し考えを深めていく姿が例示され、児童の思いや願いに寄り添い深い学びができるよう工夫されています。</p> <p>学校図書の教科書です。写真は大きく見やすいものが中心に置かれています。ユニバーサルデザインを配慮した読みやすい書体で統一され目に優しく判別しやすい色使いとなっています。</p>

す。児童のつぶやきがタイトルとして示され、思いや願いに沿って主体的な活動が展開できるよう工夫されています。また、キャラクターの吹き出しが、活動を広げたり気付きを深めたりする手立てとなり、より深い学びができるよう工夫されています。「やくそく」では、活動の基礎となる大切な知識や技能が身に付くよう配慮されています。「ものしりずかん」や「ものしりノート」が各所に表示され、児童の興味関心を引き出したり、主体的な活動を助けたりする資料となっています。さらには、巻末の「せいかつまなびかたずかん」では、活動を支援するヒントが掲載され、主体的な学びの一助となっています。

教育出版の教科書です。写真やイラスト文字が大きく分かりやすい表記となっています。それぞれの単元が、活動への意欲や興味を引き出す「わくわくスイッチ」、育てたい力を示す「サイコロ」、気付きを促し、気付きの質を高める「はっけんロード」、活動を振り返る「なにをかんだかな」、自己評価を促す「ぐんぐんはしご」で構成され、児童の学習活動が主体的、対話的で深い学びが行えるよう工夫されています。キャラクターや吹き出しによる、思考を促すヒントが示されたり、「何をかんだかな」では、友達や先生と伝え合う活動が示されたりして、気付きの質を深めることができるようになっています。また、単元末には、学習したことを家庭や地域に広げることが意識した構成となっています。教科書巻末には、「学びのポケット」が掲載され、生活科の学びと他教科をつなげて、生活科で身に付けたい知識や技能が習得できるよう工夫されています。

信州教育出版の教科書です。教科書の見本本がありませんので、編修趣意書等から調査した内容を報告します。地域に生まれ、地域に育つ児童が、四季を通して自分・友達・家庭・地域・動植物と関わることを重視した発展的な学びや、体験を元にした表現ができるような構成となっています。

動物や植物との継続的な関わりについての発展的な学びや、体験を元にした表現の具体例が示されていることや、健康で安全な生活を送るために必要な生活習慣が習得できるように、季節や成長段階を踏まえて「きをつけよう」のページを設定するなどし、児童の豊かな学びにつながるような配慮がされています。

光村図書の教科書です。豊かで個性的な児童たちの表情や身振り等の写真から、自分も思わずやってみたく、好奇心がくすぐられるような構成となっています。「こんなこともあるかもね」「どうしてなんだろう」が、単元内の随所に示され、自分らしい活動や学びを進めることを大切に、思考力・判断力・表現力の育成や主体的な学びが展開できるよう工夫されています。また、見開きごとに学びを振り返るコーナーが設けられ、学んだことを情意面とともに振り返ることで、気付きの質を高め、学びを確かなものにし、重点を示して振り返ることで、生活科で求められる資質や能力を身に付けられたりできるよう工夫されています。さらには、単元の最後に、多様な表現活動を通して、活動を自分の言葉でまとめられる場を設定しています。「楽しい毎日につなげよう」のコーナーも位置付け、学習したことが日常生活につながる工夫がされています。

啓林館の教科書です。単元の扉となるページは、ダイナミックな写真と思考を促す問いの言葉で構成され、児童の活動意欲を喚起するよう工夫されています。全ての単元が、導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成されています。また、

各紙面の構成要素の位置が固定化され、活動の流れが捉えやすく、学びのプロセスが分かりやすい構成となっています。ページの右下に、活動の中で生まれた気付きや、児童の思いや願いを次の活動につなげる「めくりことば」を設定し、期待感や意欲を高める工夫がされています。さらには、児童の気付きを可視化したり共有したりするためのICTの活用や板書の例示、協働的な学びを促す机のレイアウトなど、実際の活動場面や教室環境が示され、児童も教師も見通しをもち深い学びができるよう工夫されています。

以上、7つの発行者全ての教科書につきまして、生活科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍2票、大日本図書0票、学校図書4票、教育出版4票、信州教育出版0票、光村図書2票、啓林館1票

以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長

本調査会では、東京書籍と啓林館の教科書がふさわしいと思います。

理由としては、東京書籍の教科書は、ダイナミックな写真や多様な表現方法により、児童が教科書を開いただけで具体的な活動イメージがつかめるよう工夫されています。児童が、思いや願いを表現していく学習の過程で、「見つける」「比べる」「たとえる」など、気付いたことをもとに、思考・判断・表現する多様な学習例が、写真や挿し絵、吹き出し、学習カードなどの表現作品で示されています。また、単元末では、児童が表現・交流活動を行い、気付きを関連付けながら質を高めていく姿や過程が例示され、主体的・対話的で深い学びの学習活動が展開できるようになっています。上巻の始めには、スタートカリキュラムが示され、生活科を学習活動の中心に幼児期との円滑な接続ができるよう工夫されています。さらには、他教科へつながる学びが教科のマークで示されていたり、豊富なQRコンテンツや資料で個別最適な学びができるよう工夫されていたりする点からもふさわしいと思います。

啓林館の教科書は、「思いや願いをもつ」「活動や体験をする」「感じる・考える」「伝え合う・振り返る」といった、生活科の学習過程の基本を大切に、全ての単元が構成されています。タブレットの活用や電子黒板で共有したりする多様なICT活用の例を掲載したり、写真やイラスト、思考ツールを使って児童の思考を可視化、構造化する板書例を掲載したり、協働的な学びを促す机のレイアウトを活動のねらいに沿って掲載するなど、教室環境を具体的に示しています。教室環境を見える化することで、教える教師サイドの視点に立った工夫もされ、

初めて生活科を教える教師にとっても活動がイメージでき、指導の充実が図れるよう使いやす  
いものとなっています。また、上巻の始めには、スタートブック。下巻の最後には3年生への  
ステップブックが掲載され、幼児期から中学年へとなめらかに学びがつながるよう工夫されて  
います。さらには、学びウェブやデジタルたんけんブックなど、ICTを効果的に活用するこ  
とが充実している点でも、ふさわしいと思います。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員

生活科は、幼児期の教育や、中学年以降の学習とのつながり、他教科などにおける学習との  
関連を重視した学習内容で構成されている教科書がふさわしいと考えます。このような観点で  
調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。

委員

委員長の報告にもありましたが、東京書籍には、他教科との関連を意識して、マークを効果  
的に活用しているところが工夫されていると感じました。

委員

幼稚園教育及び、3、4年生の学習との接続という観点からすると、東京書籍は子供が成長  
を実感し生活を豊かにできると感じました。

委員

具体的に他教科の連携の部分には、「国語」「算数」等記載があることで、意識して学習が  
進められるよう工夫されているところが良いと感じました。

議長

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委  
員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、投票を行います。事務局は準備願います。

議長

それでは、開票結果について、事務局から報告願います。

事務局

開票いたします。

算数 東京書籍 理科 教育出版 生活 東京書籍

以上でございます。

事務局	<p>算数、理科、生活の開票結果をご報告いたします。</p> <p>算数、東京書籍 6 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 0 票、啓林館 0 票 日本文教 0 票</p> <p>理科、東京書籍 0 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 6 票、信州教育出版 0 票、啓林館 0 票</p> <p>生活、東京書籍 6 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 0 票、信州教育出版 0 票、光村図書 0 票、啓林館 0 票、</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>それでは、確認致します。</p> <p>算数は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。</p> <p>理科は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。</p> <p>生活は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。</p>
議長	<p>ここで昼食・休憩時間をとります。</p> <p>事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。</p>
事務局	<p>会議の再開時刻を 13:30 とします。</p>
議長	<p>それでは再開いたします。音楽の報告をお願いします。</p> <p>ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>音楽の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>音楽の教科用図書の発行者は、教育出版社と教育芸術社の 2 者でございます。</p> <p>教育出版社の教科書についてですが、この教科書は、全学年、目次の次のページに学習マップがあり、1 年間の学習の見通しがもてるようになっており、学習の振り返りもしやすくなっています。</p> <p>また、歌唱の共通教材では、日本の美しい自然や四季を感じ取れる見開きの写真が掲載されていたり、服装やどのように親しまれてきたかなど、文化的な背景が紹介されていたりするのが特徴です。</p> <p>次に、教育芸術社の教科書についてですが、現行の教科書については教育芸術社のものが第 18 採択地区で使用されています。</p> <p>この教科書は、1 年生から継続して「気づく」「考える」「演奏」の流れで構成されているため、学習の流れの見通しをもって活動に取り組み、学びを深めるようになっています。</p> <p>また、単元のまとまりで「振り返り」が書かれているので、単元を通して何を学んだのかを自分で振り返り確認することができるのと同時に、音楽科で身に付けたい基礎的・基本的な技能を系統的に扱っているのが特徴です。</p> <p>では、始めに、教育出版社の「音楽のおくりもの」について、報告します。資料の 31 ページをご覧ください。</p>

資料の内容の上から「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」についてです。

体を動かし、音や音楽を感じ取りながら、音楽を形づくっている要素との関わりに気付く学習活動が多く取り入れられています。

実際の教科書の例としては、2年生のP 8と4年生のP 55になります。鑑賞の学習ですが、耳で聞きとるだけでなく、音楽との一体感を味わい、想像力を働かせながら音楽と関わるができるようになっていきます。実際に曲に合わせて歩くなど体を動かすことで、拍や強弱を感じ取ることができ、実感を伴う鑑賞学習になっています。

また、QRコードを読み込むと多様な奏法の仕方などが示されており、音色の違いや演奏のおもしろさを味わい、表現活動に取り組んだり、技能を習得したりできるようになっています。

2つ目の項目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。

鑑賞教材での楽譜を丁寧に扱われています。6年生のP 16・17「運命」ではオーケストラのスコアを扱い、見方や重なりなどを見やすく示されています。「まなびリンク」でも演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きをとらえて見るできるようになっています。

また、音楽づくりのバリエーションが豊富に紹介されています。実際の教科書の例としては、5年生のP 58・59「ずれの音楽」6年生のP 36・37「じゅんかんコード」になります。2つの組になり同じリズムを始まりの拍を変えて追いかけたり、同じリズムを繰り返したり、いろいろな活動例示しています。それにより、他の楽曲でも音楽を形づくっている要素などいろいろな気付きが生まれ、表現活動でも児童の「このような音楽をつくりたい」という自分なりの思いや意図の広がりを引き出せるようになっていきます。

3つ目の項目「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。

幅広い知識と教養を身に付けられるよう、一線で活躍する演奏家などから、子供たちへのメッセージが4年生以上の巻頭に掲載されています。

児童自身が見通しをもって主体的に学習を進めることができるように、学習活動の手順として「まなびナビ」が示されています。実際教科書の例としては、2年P 12、13「キャンディマン、山びこごっこ」になります。また、中高学年では、「まなびナビ」から「学び合う音楽」で学び方を示しています。5年生P 26・27「ハローシャイニングブルー」①どんな曲かな、②曲の特徴はどんなところのあるかな、③パートに分かれて練習しよう、④みんなで合わせよう。などのように協働して音楽活動に取り組めるように学び方の例を示す工夫がされています。

4つ目の項目「特記すべき教材や教科の特性」ですが、

様々なジャンル、表現方法の音楽に親しめるように教材が工夫されています。

また、教科横断教材として、短時間学習の教材としても扱える「ショートタイムラーニング」コーナーが巻末に設置されているもの特徴といえます。

資料に関して言えるのは「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、3年生以降は自ら見付けた要素等を書きこむ「メモ欄」が設けられています。

また、「音楽のもと」のまとめ、音楽を表すいろいろな言葉が巻末に示されていることにより、児童の思考の助けとなり、これが、学年に応じて変わっていることで、その学年で児童が

使えらると良い表現のモデルが見られるので、評価もしやすくなっています。

表記・表現に関しては、巻末の『君が代』のページに、オリンピック・パラリンピックの多様な種目が掲載されていたり、全国各地にある「さざれ石」の写真が全学年に違うものが掲載されていたりしており、歌詞の意味や国歌が大切に歌われている場面について丁寧に扱われています。

次に、教育芸術社の「小学生の音楽」について報告します。資料の32ページをご覧ください。

資料の内容の上から「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」についてです。

それぞれの教材に「見つける」「歌う」などのマークで学習活動が示されており、「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」が明確になっています。

実際の教科書の例としては、2年生のP48、4年生のP11、6年生のP14などがあります。自分の思いを表せるように、声や楽器の音の出し方に気を付けたり、互いに聞き合いながら歌ったり演奏したり、ねらいに合った音を自由に選んだりまとまりのある音楽を作ったりするための活動を示しています。

発声や楽器の奏法のコツが的確な表現で示されていたり、写真付きで掲載されていたりするので、わかりやすく、児童が着実に技能を身に付けることができるようになっています。教科書の例としては、3年生のP22から24にリコーダーの指遣いや息遣いについて丁寧に示され、児童にわかりやすいものとなっています。

2つ目の項目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。各楽曲にある「考える」マークでは、各活動を通して何を考えるのかが明確に示されています。また、キャラクター（子供たち）の吹き出しには、児童の思考・判断・表現の助けになる言葉が示されています。また、指導する教師も指導のポイントがわかりやすくなっています。

実際の教科書の例としては、5年生のP31になります。3人のキャラクターの言葉や表情が曲の特徴を感じ取る活動の参考になっています。

楽曲どうしの比較がしやすいよう、鑑賞教材が選曲されています。教科書の例としては、2年生のP12・13、4年生のP58・59、6年生のP48・49になります。いろいろな楽器や、日本及び、諸外国の音楽を鑑賞することができるようになっています。さらに、それぞれの音楽の違いを捉えやすくするために、比較鑑賞の学習が設定されています。

3つ目の項目「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。

郷土の音楽を伝承する大切さを伝えるコラムや写真などの掲載や、職業として音楽活動をしていることがわかる写真を掲載し、音楽と職業を関連させる工夫がされています。

地域に伝わる音楽の取り上げ方を工夫し、郷土の音楽を身近に感じながら鑑賞することができる教材や資料を取り上げています。

実際の教科書の例としては、3年生のP60・61、4年生P26から29になります。3年生の『神田囃子』や4年生の『こきりこ』、地域に伝わる踊りや音楽を通して、自分の身の周りの地域に興味関心をもち、調べ学習から地域の音楽へと興味関心を広げる学習になっています。

4つ目の項目「特記すべき教材や教科の特性」ですが、時間の経過と音の流れを関連付けて視覚的に捉えられる新しい教材(クロックミュージック)が取り入れられているのが特徴です。3年生のP58・59になります。これまでの学習を生かして音楽を作る、楽しく学習できる教材になります。

著作権に関するページが見開きで設けられ、タブレット等で音源を使用するうえで必要な知識が示されています。6年生P24・25で作品、著作物を尊重することの大切さを考えるきっかけになるように、作品を作った人に与えられる権利、著作権について、前時の学習でつくった「ボイスアンサンブル」をもとにして考えるようになっていきます。

資料に関して言えるのはQRコードやパソコンマークがついていて、技能を高めるために練習をしたり、自ら深い学びができるようになっていたりします。さらに、QRコードが定位置にあるため活用もしやすくなっています。タブレット活用で、旋律づくりや音楽づくりの活動がしやすくなっており、作成したものをすぐに再生したり、修正したりしやすくなっています。表記・表現に関しては、縦書きの歌詞があったり、配色、文字、イラストの色の濃度などでユニバーサルデザインを取り入れたりして、読みやすさの確保がされた誌面づくりとなっています。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。  
教育出版9票、教育芸術社24票 以上でございます。

議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員 音楽は、今、使用しているのは教育芸術社で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてでしょうか。

調査員長 教育芸術社の使い勝手のよさを2点申し上げます。

1点目は、児童の実態に合うものであるということです。「知識及び技能が習得されるようにするために工夫」や「思考力・判断力、表現力等を育成するための工夫」でも説明したとおり、どのように学ぶのか学びのヒントがマークで表されているので、何を学ぶのか、何ができるようになるのかが、わかりやすくなっています。また、キャラクターの吹き出しもたくさんあり、子供たちが自発的に学習を進めることができるようになっていのも特徴と言えます。

2点目は、教育芸術社の教科書で扱われている教材が、指導者にとって親しみやすく扱いやすいものであるということです。発達段階に合わせた歌詞の内容や、子供たちの声帯に無理な負担がかからないよう、適切な音域で歌唱できる教材となっています。また、「歌声ルーム」に実践的な歌唱方法がわかりやすくあり、指導者も歌唱指導がしやすく、音楽の指導が堪能とは言えない教員にとっては、教育芸術社の教科書は使い勝手が良いと考えます。

議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。
委員	音楽では、どうしてこの曲を選んだのか、この曲を通して何を身につけさせたいのか、選曲のねらいが大切だと思います。このような観点から考えると、どうでしょう。
委員	教育芸術社は、各活動を通して何を考えるかが明確に示されています。選曲のねらいが明確になっています。
委員	教育芸術社は楽曲同士の比較がしやすいよう、鑑賞教材が選曲されているところが工夫されていると感じました。日本と諸外国の音楽を取り入れ、音楽の違いを捉えやすくしているところが良いと思いました。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、図画工作の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから、図画工作科の調査結果の報告をいたします。よろしく願いいたします。 開隆堂出版、日本文教出版の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。 開隆堂出版の教科書ですが、3・4年上P42・43をご覧ください。大きな写真と学習のめあてがわかりやすく、見通しをもって活動できるように、また、題材名を児童が発想しやすく、感覚的で想像をかき立てられ、やってみたい、作ってみたいと学習意欲をもてるよう工夫されています。 3・4年上P5～7をご覧ください。1年間の学習がはじめに見開きでまとめられていて、流れがつかみやすく、児童にとっても、また、指導する教員にとってもわかりやすいものとなっています。 3・4年上P57の盆栽づくり、5・6年上P53・P56のように、日本の伝統文化や県内の美術館、アーティストを取り上げることで、造形活動への意欲を高めたり、郷土を愛する心情を育てたりする効果が期待できます。 5・6年上P35のように、持続可能な開発目標いわゆるSDGsに配慮して、「SDGsコラム」を設けるなどして、持続可能な社会の創造につながることを示されています。 5・6年上P33のように参考作品が大きくカラフルで、はっきりとした色合いの作品例を扱い、児童の意欲を高めています。 日本文教出版の教科書ですが、3・4年上P22・23をご覧ください。児童の発達に応じた材料の提示や資料が多くあり、学習のめあての中に題材についての3つの観点が示され、ど

んな力を身に付けさせれば良いかという題材のゴールが明確に示されています。また、活動風景の写真が実際の授業を撮影しており、児童の好奇心を引き出すような工夫がされています。

3・4年上P56・57のように、巻末に用具の使い方が「かく・木のかこう・あなをあける・切る・はる、つける・・・」と取りあげられていて、特にP58・59の木加工では、金づちやげんのうの使い方がくわしく示されています。

5・6年上P64には高学年に接着剤の適合表を掲載することで教員が指導する際の細かな配慮まで考慮されたつくりとなっています。「QRコード」で材料の使い方についても場面ごとに短く区切ってあり、必要な場面を選んで使用することができるようになっています。

5・6年上P56・57には、川口市アートギャラリー、武蔵野ミュージアムなど県内のものが紹介されています。

5・6年上P53より前に見ていきますと、各題材について、実際に児童が活動している写真を使っており、わかりやすく伝えようとする工夫がなされています。5・6年上P37には、持続可能な開発目標いわゆるSDGsに配慮したものが取り上げられています。

以上、2つの発行者全ての教科書につきまして、図画工作科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。  
開隆堂25票、日本文教出版6票 以上でございます。

議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告 に対して、質問はありますか。

委員 今、使用しているのは開隆堂で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてどうでしょうか。

調査員長 開隆堂出版社の使い勝手ですが、参考作品が大きくカラフルで、はっきりとした色合いの作品例を扱い、児童の意欲を高められます。また、全学年の表紙について、題字が工夫されていて、それぞれの学年で大切にしたいことがはっきり伝わるというよさがあります。

議長 ほかに質問はございますか。

議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員 子供たちにとって、学習の内容、ねらいがわかりやすく、授業の流れをつかみやすい教科書がふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。

委員 開隆堂は、各ページの学習めあてがわかりやすく、1年間の流れが最初のページにあるなど、

	見通しを持って活用できるように工夫されているところが良いと思いました。また、題材名は工夫されていて、児童も何の学習を行うのかよくわかると思いました。
委員	児童の作品が大切に扱われており、教師が教えやすく、児童が学びやすいのは、今使っている開隆堂だと思います。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、家庭科の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから、家庭科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願ひいたします。 家庭科は、東京書籍、開隆堂出版の2つの発行者の教科書につきましてご報告いたします。初めに、東京書籍の教科書「新しい家庭」についてです。 全体の特徴としては、題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで問題解決的な学習ができるようにしています。そのような学習を踏まえ、「生活を変えるチャンス」では、実践的・体験的な学習の充実が図れるように工夫されています。 また、豊富なコンテンツを活用して、思考を可視化したり、他者と共有したりしながら、学んだことを生活に生かせるように工夫されています。題材は2年間を通して15の題材で構成されています。 続きまして、開隆堂出版の教科書「わたしたちの家庭科」についてです。 全体の特徴としては、題材毎に、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップからなり、見通しをもって課題解決型学習が進められるように配慮され、家庭での実践につながるように構成されています。 また、スモールステップで簡単なものから繰り返し取り組んだり、多様なコンテンツを用意して目で確かめたりしながら、基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されています。題材は2年間を通して20の題材で構成されています。 なお、第18採択地区では、現在、開隆堂出版の「わたしたちの家庭科」を使用しております。 では、内容につきましてご説明いたします。 まず「東京書籍  新しい家庭」の「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」について説明いたします。6ページをご覧ください。「成長の記録」のポートフォリオを活用することで、学習を振り返り、自分自身の知識や技能の習得状況を確認できるようにしてあります。また、23ページや32ページの最後に水色で囲まれている「できたかな」の欄によって技能の自己評価ができるようになっています。これらの実習等の基礎技能については動画が豊富にあり、QRコンテンツで、基礎的・基本的な内容を確認することができます。

次に「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」について説明いたします。28ページ上の部分をご覧ください。題材の始めに、身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、ここでは何をするのかを考えさせ、自分の課題をもって学習に取り組めるようにしています。

また、QRコンテンツにはなりますが、導入時にトライシートを活用することにより、自分の考えを可視化し整理することができ、課題発見につながります。

次に「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」について説明いたします。35ページ、65ページをご覧ください。学校での既習事項を生かした、「生活を変えるチャンス」や「わくわくチャレンジ」を長期休業前に設定することで、家庭や地域での実践につなげることができるようになっていきます。

また、43ページのようにSDGsの視点をもって家庭科学習を進めることで、持続可能な社会を作るための生活のあり方を考えられるようにしています。

次に「特記すべき教材や教科の特性」についてですが、各大題材最後の「活動を深めよう」にあるPDFのワークシート「深めよう」により、タブレット上で写真を貼ったり記録をしたり等の作業がしやすくなっています。

また、デジタルコンテンツなど、他教科との横断的な学習に活用できる資料が豊富です。

最後に、資料や標記・表現としての工夫は、写真を多く用いて見やすく配置し、デジタルコンテンツ等たくさんの資料があることや、28ページを例に見ると、1時間毎や小単元毎にめあてが書かれ、活動が明確になる表記がされていることです。

続きまして「開隆堂出版 わたしたちの家庭科」の「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」について説明いたします。4ページ5ページをご覧ください。簡単なものから繰り返し行わせ、着実に知識・技能を身に付けさせる題材配列や資料提示がしてあります。

44ページをご覧ください。作品例が2つありますが、実習の難易度を星印で示しており、個に応じた学習内容の設定をしやすいようにしています。

また、15ページをご覧ください。技能チェック表「できたかな」で、学習成果を毎時間確かめられるようにしています。

次に「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。21ページ右下、22ページ左上、24ページ左上と真ん中に「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」とありますが、授業の中で効果的に活用できる小課題を題材毎に設け、学習の思考が深まるようにしています。

20ページをご覧ください。題材の最初にその題材で意識する「生活にかかわる4つの見方・考え方」をクローバーで示し、それを達成するために、ページ下のクローバーのキャラクターが吹き出し等でどのように考えたら良いか思考を促しています。

また、上の写真は上段左から右へと題材全体の流れを導入写真やイラストのフォトランゲージからイメージをさせ、「マイめあて」を見つけやすくしています。

次に「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。37ページや80ページ等の「レッツ・トライ」や「生活の課題と実践例」から具体例をヒントに自分の生活課題を実践で取り組みやすくしています。

	<p>また、65ページの「エシカル消費」や132ページの題材などSDGsの視点や消費者教育の視点を、身近なところから生活全体へと段階的に身に付けていける題材配置にしています。</p> <p>次に「特記すべき教材や教科の特性」についてです。イラスト等が人種や男女差、様々な家庭の形に対応したり、配慮したりしています。</p> <p>また、QRコンテンツの動画では、「全体の流れ」と「一部」とがあり、スピード調整も可能で、支援の必要な児童への個別指導にも生かすことができます。</p> <p>最後に、資料や標記・表現としての工夫は、巻末の折り込みや背表紙、豆知識の資料が充実しており、興味をもちやすく、実習時の確認に生かせることや、各題材で項目ごとに配置の統一がされ、14ページ15ページのように見開きで、左から右へと実習の一連の流れが見やすくわかりやすくしていることです。</p> <p>以上、「東京書籍」「開隆堂出版」2つの発行者全ての教科書につきまして、家庭科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。</p>
議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>東京書籍13票、開隆堂21票 以上でございます。</p>
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告 に対して、質問はありますか。
委員	家庭科は、今、使用しているのは開隆堂で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてでしょうか。
調査員長	どちらも優れている教科書だと思います。見やすさが、どちらの教科書も見やすくなっておりますが、開隆堂は見開きでというところが統一されていると思います。
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。
委員	家庭科は、児童の学習の流れに沿った内容構成になっている教科書がふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。
委員	開隆堂は、本文や資料、図などがバランスの良い量で、学びやすい位置に配置されていると思いました。
委員	どの教科書も見やすかったのですが、開隆堂の教科書は、どの単元も3つのステップで見通

しをもって学習できるところが良いと思います。また、その学習内容が家庭での実践に繋がるように工夫されているところも良いと思いました。

議長 ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 それでは、投票を行います。事務局は準備願います。

事務局 それでは、開票結果について、事務局から報告願います。

事務局 開票いたします。

音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 開隆堂
音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 開隆堂
音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 開隆堂
音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 開隆堂
音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 開隆堂
音楽 教育芸術社	図画工作 開隆堂	家庭科 東京書籍

以上でございます。

開票結果を報告願います。

事務局 音楽、図画工作、家庭科の開票結果をご報告いたします。

音楽、教育出版0票、教育芸術社6票

図画工作、開隆堂6票、日本文教0票

家庭科、東京書籍1票、開隆堂5票

以上でございます。

議長 それでは、確認致します。

音楽は教育芸術社が過半数を得ましたので教育芸術社を選定いたします。

図画工作は開隆堂が過半数を得ましたので開隆堂を選定いたします。

家庭科は開隆堂が過半数を得ましたので開隆堂を選定いたします。

議長 ここで休憩時間をとります。

事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。

事務局 会議の再開時刻を 14:40 とします。

議長 再開します。保健の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

これから保健の調査結果を報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

保健では、6つの発行者の教科書があります。東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、学研の順で報告いたします。

はじめに、東京書籍について、説明いたします。

1つ目は、自分ごととして捉えた健康課題について授業を進められるように4つのステップから学習を構成し、主体的・対話的で深い学びになるように工夫されています。

具体的に説明いたしますので、5・6年生P44・45をご覧ください。

45ページ右上にありますように、毎時間の内容を主体的・対話的で深い学びとなるように、4つのステップ「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」という流れで、4ページ前後の学習パターンによってまとめられています。45ページをご覧ください。「気づく・見つける」の段階では、自分の日常生活と直結して健康課題を見つけられるよう工夫されています。ページをめくってください。さらに、児童が、「調べる・解決する」「深める・伝える」の学習内容を見開き2ページで学習した後、48ページにありますようにまとめをすることで、自然と学習を振り返る思考過程ができ、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。

2つ目は、各ステップに思考・判断したことを表現するスペースが設けられワークシートのように活用することで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように工夫されています。

5・6年生P56・57をご覧ください。

ノートもデジタルもこの教科書1冊でのオールインワンをコンセプトにしているので、新たにワークシートやノートを用意しなくても、56ページ中段のように、全てのステップで思考・判断したことを表現できるスペースが設けられています。学習の4つのステップに記入欄、記述欄がありますので、つまり、1時間の中に4回は思考・判断したことを表現する時間が確保されていることとなります。文章で表現する部分については十分なスペースが確保されています。

3つ目は、二次元コードから直接リンクできるデジタルコンテンツが豊富で目的に合わせて活用できるとともに、今日的な健康課題を扱う資料が充実しているので、学びを深めたり、広げたりする活動に活用できるように工夫がされています。

5・6年生のP50をご覧ください。

二次元コードからリンクできるデジタルコンテンツが豊富に用意されています。二次元コードの下に動画や資料、ワークシートのタイトルが付けられ目的に合わせて使いやすくする工夫がされています。動画の内容も2分以内のものが多く用意されています。

また、教科書P2の下段にはコンピュータの学習への生かし方を動画でも学べるようになっています。

P52・53をご覧ください。

資料には、今日的な健康課題についても充実しており、学びを深めたり、広げたりする活動に活用できるだけでなく、児童の健康や命を守るためにも役立ちます。

次に、大日本図書について、説明いたします。

1つ目は、単元の最初に各時間の学習内容について整理し、見通しをもって学習を始められ

るように工夫しているとともにゲーム感覚の活動を行うことで児童の学習意欲を喚起しています。

5・6年生P40・41をご覧ください。

各単元の導入にあたり、40ページにありますように、最初の1ページにはこれから学習する内容についてどのような学習をするのか整理し、見通しをもって取組めるように工夫されています。また、次のページには学習内容につながる内容を簡単なゲーム感覚の活動で行うようになっており、学習意欲を喚起するとともに学習課題に気付き単元に取り組んでいけるように工夫されています。

2つ目は、見開きの上部を切ることで学習内容を隠した状態で導入段階の「つかもう」の活動ができるようになっていきます。また、広げると「活動を行なうときのヒント」があり深い学びにつながるよう工夫されています。

5・6年生P2の折り込み部分をご覧ください。

見開きページの上部を切り取り、例えば10ページにかぶせることで、これからの学習内容を隠した状態で導入の活動「つかもう」ができるようになっており、児童の集中力を高めたり興味、関心をもたせたりしながら導入できるように工夫されています。また、導入終了後広げて学習することで、「活動を行なうときのヒント」が示されており、深い学びにつながることを意識した構成となっています。

3つ目は、1時間の内容が統一されたレイアウトになっており、各ページの左側にガイドが記されているので学習の流れが分かりやすくなっています。また、「活かそう」をはじめ記入するスペースが必ず入っているので、思考力・判断力・表現力等の育成を図れるようにも意識されています。

5・6年生のP52・53をご覧ください。

P52・53の左側、赤い表記で書かれていますように毎時間の学習の流れが「みつける→考える・やってみる→まとめる→広げる・深める」に統一され分かりやすいものになっています。また、各ページの下に「ミニちしき」の欄が設けられており、学習内容に関係する新しい知識を載せ、知識・理解を深めるための工夫がされています。

P52の最初やP53の最後にあるように考え表現する欄が毎時間設定されており、自分の考えを表現できるように工夫されています。

次に、大修館書店について、説明いたします。

1つ目は、身近な生活の中から課題を発見し、3ステップのシンプルな学習過程で構成され流れが分かりやすく、主体的に学習を進められるように工夫されています。

5・6年生P46・47をご覧ください。

46ページ上段の「課題をつかもう」では、1時間ごとの授業の導入で身近な生活の中から課題を発見できるように工夫されています。学習過程は3つのステップで構成されていて、46ページのステップ1では課題をつかみ見通しをもつ、46・47ページのステップ2では課題解決のための活動に取組み、47ページの下段ステップ3では友達のと比較したりして学習をまとめるようになっていきます。ステップ2の活動には「話し合おう」「考えよう」「調べよう」「やってみよう」の4つの活動があります。授業の流れが分かりやすく児童が主体的

に学習を進められるように工夫されています。

2つ目は、キャラクターの言葉をヒントに考えたり、友達と対話を進めたりすることで思考・判断・表現の育成が図れるように工夫されています。

5・6年生P45をご覧ください。

各単元の最初にキャラクターと著名人の会話から考えるためのヒントや思考を広げたり深めたりするきっかけが与えられており、学びに入りやすいように工夫されています。

P46をご覧ください。

上段のキャラクターが思考のきっかけを提供し学習をサポートしています。キャラクターの言葉がそれぞれの活動の中で働かせる見方や考え方のヒントになり、これをきっかけに対話を進めたりすることで、思考力・判断力・表現力の育成が図れるように工夫されています。その他にも対話を促す場面としてステップ2の「話し合おう」や「考えよう」などの活動も設定されています。

3つ目は、動画やシミュレーション、ウェブクイズなどのデジタルコンテンツが用意され、深い学びや学習のまとめ、確認に活用していくことができるよう工夫されています。

5・6年生P6をご覧ください。

深い学びをサポートするために動画やシミュレーションのコンテンツが用意されています。教科書の説明があまり多くない分、動画やシミュレーションによる説明が多く、視覚に訴えながら学習が進められるようになっています。

P47にお戻りください。

特徴的なのは47ページのまとめの欄外にあります2次元コードを読み取りますとウェブクイズに挑戦できます。このウェブクイズは本時の学習した内容が3択問題等のクイズで出題されており、本時の学習の習得を確認できるようになっています。毎時間、まとめで活用できるよう用意されています。

次に、文教社について、説明いたします。

1つ目は、各単元の初めに学習がイメージしやすい写真や説明を入れた動機付けページを設けることで健康を意識しながら見通しをもって学習に取り組めるように工夫されています。

5・6年生P46・47をご覧ください。

各単元の最初に見開き2ページで学習する内容がイメージしやすいような写真を入れた「動機付けのページ」にしています。写真だけでなく、46ページ左上にあります単元の目標や47ページ右側に学習の見通しを入れ意欲をもって取り組めるように工夫されています。また、右下には、今までの振り返りながら自分ごととして学習を進められるような問いかけがされています。

2つ目は、1時間の学習のまとめをもとに「もう一歩先の自分へ」という記述欄を設け、学習で理解した内容を日常生活で自ら実践していけるようにしています。

5・6年生P50をご覧ください。

1時間の学習が学習内容であるミッションと学習活動であるステージからなっており、黄緑色のミッションにはキーワードが書かれています。学習では毎時間のまとめを行った後、赤色のミッションとして学習したことをもとに「もう一歩先の自分へ」を記述するようになっています。

ます。これは、場面設定された状況の中で、自分の考えを記述することにより、学習で理解した内容を日常生活で意識し自らの実践へとつなげていけることをねらっています。

3つ目は、単元の最後に理解したことをより実践につなげていけるように「宣言ページ」を設けており、まとめとして伝え合う活動を通して、思考と理解度を確認できるようにしています。

5・6年生P81をご覧ください。

各単元の最後に学習で理解した内容を日常生活の実践によりつなげていけるように「わたしのいきいき宣言」のページを設けています。これは、ただ宣言を記入するだけでなく、宣言することとその理由を意識して、友達に伝え合うことを想定しています。単元のまとめとしてこの活動を行なうことで、子供の思考と理解度が確認できるようになっています。

次に、光文書院について、説明いたします。

1つ目は、各単元の初めにストーリー形式のイラストと会話を配置することで、これから学習する内容に興味・関心をもち、目的意識をもって学習に取り組めるように工夫されています。

まず、5・6年生P2をご覧ください。

このストーリー形式のイラストと会話では「どうして保健を学ぶのかな。」と題して保健を学習する意義や大切さを知らせるとともに学習への興味・関心につなげようとしています。

次に、5・6年生P39をご覧ください。

単元の導入に、児童がこれから学習する内容についての身近に感じられるようなストーリー形式のイラストと会話が掲載されています。学習する内容に興味・関心をもち、学習に目的意識、課題意識をもって取り組めるように工夫されています。

2つ目は、資料を基に自分の考えを記述して伝える活動を豊富に取り入れ、表現力の育成が図られるように工夫されています。

5・6年生P49をご覧ください。

「話し合おう」の活動では、話し合っ考える活動や自分の考えを他者に伝えたり、説明したりする活動が想定されています。児童が他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるように工夫しています。また、資料を基に話し合うだけでなく、自分の考えを記述して表現し伝えるようにすることで表現力の育成が図れるように工夫されています。

3つ目は、「主体的・対話的で深い学び」になるように、全単元統一されたデザインで学習の流れが分かりやすい構成になっています。

5・6年生P62・63をご覧ください。

すべての時間が2ページ見開きの構成になっています。「見つけよう」で学習内容を自分のこととして捉え、学習の課題を明示し、「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」など協働的な学習を意識した活動を行うことで自分の考えを広げたり、深めたりします。また黒い星マークの付いた部分が学習のまとめとして身に付けたい内容を明確に表し、「学んだことを生かそう」で学習した知識を社会や生活の中で活用できる力を育成できるようにしています。また、64ページにあるように単元の終わりに学習内容を確認する問題や振り返りが付いていることで学習の定着を図ることができます。

最後に、学研について、説明いたします。

1つ目は、各時間の初めに身近な写真や絵を配置することで、自らの日常を振り返る場面を設け、生活の仕方から健康課題を見出し実践的に生かすことができるように工夫されています。

5・6年生P50をご覧ください。

各時間の1ページ目には身近な場面の写真や絵が配置されています。これは、日常を振り返り、健康との関係を考えることを通して、健康課題を見出し、よりよくする方法を考えるなどの実践的に生かすことを考え工夫されたページです。この写真や絵を通して本時の課題を設定し学習を進めるきっかけにするようになっています。

2つ目は、決まった学習の流れの中で、資料を読み取ったり、事例について探究・分析したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の力を身に付けるように工夫されています。

同じページをご覧ください。

1時間の学習が3つのピースを完成させる流れで構成されているので学習に取り組みやすくなっています。51ページからになりますが、この流れの中で資料を読み取ったり、事例について探究・分析したりする活動を通して、自分で考えたことをもとに友達と話し合ったり、記述したりして思考力・判断力・表現力の力を身に付けていけるように工夫されています。53ページの「学びを生かす」では事例をもとに、学習した内容が日常生活に生かせるように促しています。1時間の学習が4ページでおさまるような工夫もされています。

3つ目は、現代的な健康課題を関連付けるなど、健康・安全についての気付きを深める工夫がされています。

5・6年生のP55をご覧ください。

「かがくの目」では興味・関心を高めるような「見えないもの見える化」をした資料が掲載されています。

P57をご覧ください。

「ほけんのはこ」では1時間の最後に学習した内容に関する資料が掲載され、学びを広げたり、深めたりすることができるようになっています。この資料の中には、現代的な課題となる資料も積極的に取り上げられています。57ページの新型コロナウイルスや38ページの犯罪から身を守る、23ページのいじめなどが現代的な課題と言えます。

これで、保健の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

委員

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍24票、大日本図書5票、大修館6票、文教社0票、光文書院1票、学研3票 以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげる

	<p>とするならば、どの発行者でしょう。</p> <p>保健の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「大修館書店」と「光文書院」と現行の「東京書籍」と考えました。どの教科書も主体的・対話的で深い学びを意識した構成になっていますがその中でもこの3者は次のような良さが感じられました。</p> <p>「大修館書店」の主な理由は、 授業で使うページの文字が多いページもあるが、全体的に必要な以上の説明がなく見やすい構成になっている点です。</p> <p>その分、資料やデジタルコンテンツが量的にも時間的にも使いやすい内容になっています。本時の学習の確認のウェブクイズが使いやすくなっています。</p> <p>「光文書院」の主な理由は、 1つ目は、基本、見開きで1時間の授業が組まれている使いやすさの点です。 2つ目は、導入にあまり時間をかけずシンプルに進められています。 3つ目は、まとめの言葉が分かりやすく、重要な部分は太字で表現されています。</p> <p>現行の「東京書籍」は 1つ目は、デジタルコンテンツや資料がどの教科書よりも豊富で充実しています。 2つ目は、主体的・対話的で深い学びの実現をねらい4つのステップで構成されています。 3つ目は、ステップごとに記入スペースがあり、思考・判断したことが表現できるようになっています。 4つ目は、「まとめる・生かす」が1枚めくった次のページになっているので、学習の理解について確認することができます。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>それぞれの学習の段階で、思考しやすい適切な資料提示が必要だと思います。このような観点からすると、どうでしょう。</p>
委員	<p>どの発行者も、課題解決学習の練り上げや振り返りまで意図的に行くように設定されていると思いました。資料が有効であるが、多すぎても必要のない場合もあります。資料がバランスよく配置されているのが現行の東京書籍だと思います。中学校も使っており、同じようなコンテンツを活用できると思いました。</p>
委員	<p>思考という部分では、東京書籍の教科書は、1時間の中で4回は子供たちに思考を促す時間が設定されているところは良いと思います。大修館の教科書キャラクターの対話によって思考を促す部分があり、よく考えられていると思いました。</p>

議長 ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 次に、外国語の報告をお願いします。  
ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長 これから、外国語科の調査結果の報告をいたします。よろしく願いいたします。  
外国語では、「東京書籍」「開隆堂」「三省堂」「教育出版」「光村図書」「啓林館」の6つの発行者の教科書があります。発行者番号順に6者全てについて、報告いたします。それぞれの教科書に基づき、報告で触れた部分について説明させていただきます。なお、どの教科書にも随所にQRコードが印刷されており、スマートフォンやタブレットのカメラをかざすと、該当部分の音声やビデオ、音声のクリプトなどが見られ、個別最適な学びができるよう工夫されています。現時点での内容の分量や質については発行者による大きな差は見られませんが、特徴的な機能について触れていきます。

さらに、一通り報告が終わった後に、実際に教科書を見ていただきながら、具体的な説明をいたします。

東京書籍の教科書ですが、各単元の流れが、「出会う」、「慣れる」、「楽しむ」、「広げる」の4段階で構成され、単元毎にMy Goalが示されており、同じサイクルで学習することができます。学習の流れとしては、Start Outで表現についてなじみ、Your Turnで練習しながら身に付け、Enjoy Communicationで表現に結び付けるようになっています。さらに、Over the Horizonで異文化の学習や他教科と関連した学習を行います。

単語や発音の習得は、別冊のMy Picture Dictionaryが用意されており、自ら学習できるようになっています。

学習者用のデジタル教科書では、教科書の登場人物と疑似会話ができたり、動画字幕のon/off機能が搭載されたりしています。

開隆堂の教科書ですが、各単元は4段階構成となっており、単元の初めにゴールが示されています。Let's Watch and Thinkで新しい単語や表現に出会い、Let's Play、Let's Listenで聞く、話す活動が設定され、Let's Tryのコミュニケーション活動へとつながります。また、Let's Readで読みLet's Writeで書くという、児童の思考の流れに沿った学習ができます。各Lessonの最後で異文化情報や他教科と関連した学習が可能となっています。

巻末の「CAN-DOチェック」では、自分の成長や課題を確かめることができます。別冊のWord Bookには1年間で学習する単語がまとめられています。

学習者用のデジタル教科書には授業の流れや復習に役立つ資料等が掲載されています。

三省堂の教科書ですが、活動の流れはHop, Step, Jumpの3段階で構成されています。Hopにゴールが示され、見通しをしっかりとめさせてから学習を進めることが出来ます。Stepは「出会う」「慣れ親しむ」「伝え合う」という学習の流れになっており、毎時間「聞く、話す、書く」活動が設定されています。JumpはLessonを2つ終わると出てくる活動です。年に3

回設定されており、目的・場面・状況に応じて、学習した語句から自分で話す内容を選び、思考力や判断力を働かせながら表現できる場となっています。

別冊に **My dictionary** があり、学習する単語がまとめられています。

学習者用デジタル教科書では、語句・表現の学習用ゲーム等の機能が搭載されています。

教育出版の教科書ですが、各単元が **Let's Watch, Let's Listen, Activity, Final Activity** というシンプルな流れで分かり易い構成になっており、単元の初めにはゴールが示されています。**Let's watch, Let's Listen** で映像を視聴し内容をとらえ、**Activity** ではペアやグループ活動のやりとりを中心に行い、**Final Activity** で発表につなげています。書く活動は単元の最後に設定されています。言語や文化について気付きを促す活動や、他教科と関連した学習が多く設定されています。

また、巻末のワークシートが各 **Lesson** のまとめとして効果的に活用できます。

学習者用デジタル教科書には、単語の発音が再生される機能や、動画の字幕や音声の速度調整機能が搭載されています。

光村図書の教科書ですが、各 **Unit** の導入にゴールと学習の流れが示されています。また、**Unit** の最後には「振り返ろう」があり、達成度を児童自身が評価できる設定となっています。**Hop!** で学習する表現に気づき、**Step, Step2** で聞く、話す、読む、書く、活動につながっています。さらに **Jump!** では、世界の映像を見て、見方・考え方を広げ、自分の考えや思いを伝え合います。年間3回設定されている「世界の友達」と **You can do it!** では、前者では「聞く・読む」、後者では「やり取り・発表・書く」活動が設定されています。

**Picture Dictionary** は別冊ではなく巻末についています。

学習者用デジタル教科書は、必要な単語を登録することや、活動後に児童が自己評価を書き込み、教師に送ることが可能となっています。

啓林館の教科書ですが、各単元が「とびら」、**Step1** から **Step3** で構成されており、単元のはじめにはゴールが、単元の最後には **Look Back** (振り返り) が設定されています。**Step1,2** では **Jingle/Chant** を活用しながら新しい語彙や表現に慣れ親しみ、その後簡単なやりとりや発表を行い、**Step3** の **Activity** で自分の思いを伝える活動へとつなげます。「読む・書く」ことは単元の最後に設定されています。また、**Did you know?** のコーナーも単元の最後にあり、世界に視野を広げることが可能となっています。

学習者用デジタル教科書には、白黒反転やルビふりなど特別支援教育の視点での配慮が見られ、音声や動画の速度変更機能が搭載されています。

それでは、お手元の実際の教科書を用いてご説明申し上げます。

判型はA4版が4社、AB版が2社となっています。比較しやすいように5年の教科書の最初の単元をもとに説明をいたします。

東京書籍の教科書ですが、判型はA4版です。8ページの **Unit 1, Hello, friends!** の題字の下に **Our Goal** として、目標が示され、**Starting Out** で単元の学習内容に慣れ親しむために自己紹介の聞き取りを行います。10ページの **Your Turn** で学習内容の定着を図るために名前や好きな物・ことを伝え合い、12、13ページの **Enjoy Communication** で学習してきた内容を振り返るために、名刺交換という友達と関わり合う活動が設定されています。そして

次の14ページの **Over the Horizon** で世界へと視野を広げています。

巻末にはコミュニケーションカードがユニットごとに用意されており、各ユニットのまとめとして活用できるようになっています。

開隆堂の教科書ですが、版型はA4版です。14ページの **Lesson 1, Hello, everyone.** の下に単元の目標が簡潔に示され、見開きで、まず単元の学習内容に慣れ親しむために挨拶や自己紹介の仕方を聞いたり言ったりする活動が始まります。16ページからは学習内容の定着を図るために、名前の綴りについて尋ねたり答えたりして、18ページからは好きな物や欲しい物などについて伝え合う活動が設定されています。そして20ページ以降、単元のゴールである自己紹介へと進んでいきます。それぞれ見開きのページ内に、聞く、読む、話す、書く活動が配置されています。

巻末の **Can Do** チェックで、できるようになったことの振り返りがわかりやすいものとなっています。

三省堂の教科書ですが、版型はA4版です。この教科書は、各 **Unit** に2つの **Lesson** が設定されています。まず11ページの **Hop 1** で単元全体の学習を見通します。この単元では **Lesson 1, 2** を通して自己紹介をすることがゴールとなっています。12ページから19ページの **Step** では語句や表現を学びながら簡単な自己紹介ができるようにします。24ページから **Lesson 2** の **Step** が始まります。ここからは自己紹介の内容を広げる表現を学び、34、35ページの **Jump** で単元のまとめとしての自己紹介につなげています。

2つの **Lesson** の間で、アルファベットやローマ字の学習ができるようになっています。

教育出版の教科書ですが、版型はAB版です。12ページをご覧ください。自己紹介に関する単元です。13ページの上に単元のゴールが示されています。まず **Let's watch** で動画を視聴して内容をとらえ、聞く活動、口慣らしの活動を行います。14ページからの **Let's Listen** では主に、聞く活動を行います。16ページからの **Activity** では好きなものを尋ね合い、単元のゴールとなる活動に近づき、18ページからの **Final Activity** で自己紹介の発表につなげています。それぞれの単元にアルファベットの練習が設定されています。

巻末には **Final Activity** を振り返り、自己評価出来るワークシートが用意されています。

光村図書の教科書ですが、版型はAB版です。16ページをご覧ください。自己紹介に関する単元です。17ページ上に単元のゴールがあり、その下に段階を追った目当てが示されています。続く18ページからの **Step1, Step2** ではまず **Let's watch** で動画を視聴し、続く活動で名前の綴りや好きなものを聞く・話す活動に、さらに読む、書く活動につなげています。最後の **Jump!** でゴールとなる、名刺交換をしながらの自己紹介を行います。Unit 1～3の最後及び巻末にはアルファベットの学習がついています。

巻末の折り込みにある **All About Me** では、自分に関連する表現の集大成ができるようになっています。

啓林館の教科書ですが、版型はA4版です。12ページをご覧ください。この1社だけが5年生のスタートの単元のゴールが自己紹介ではありません。13ページの上に「夢の時間割を伝える」というゴールが示されています。そしてその横に **Step** ごとの「めあて」が示されています。まず12、13ページの **Introduction** と **Watch the Scene** で言葉を使う場面が設定

	<p>され、どんな場面でどんなことが話されているか知ります。次に14ページから始まる Step 1, 2で好きな教科や時間割を尋ね合い、言葉に慣れ親しみ、18ページからの Step 3での「夢の時間割」の発表へとつなげます。</p> <p>20ページからの単元の最後には振り返りや異文化理解、読む・書く活動が設定されています。</p> <p>以上、6つの発行者全ての教科書につきまして、外国語科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。</p>
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>東京書籍4票、開隆堂21票、三省堂4票、教育出版5票、光村図書11票、啓林館2票以上でございます。</p>
議長	<p>委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。</p>
委員	<p>第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。</p>
調査員長	<p>外国語の調査員で調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「開隆堂」「教育出版」「光村図書」と考えました。</p> <p>まず、「開隆堂」の主な理由は、3つです。</p> <p>1つ目は、学習活動が豊富に準備されていることです。経験の浅い教員でも教科書の流れに沿って進めていけば、一定レベルの授業が可能になると考えられます。</p> <p>2つ目は、活動が、聞く、やりとりも含め話す、読む、書く、の順に、児童の思考の流れに沿って進められていることです。</p> <p>3つ目は、書く活動が毎時間設定されていることです。毎時間少しずつ練習することで、児童が苦手意識を感じることなく文字に慣れ親しむことができます。</p> <p>次に、「教育出版」の主な理由は、3つです。</p> <p>1つ目は、1つ1つの活動がシンプルであるということです。その分教員の力量が問われますが、教えるべきことが分かり易い構成となっています。</p> <p>2つ目は、巻末のワークシートが充実しているということです。具体的には、ワークシート上で各 Lesson のまとめとして書く活動ができ、さらに各 Lesson の Final Activity を振り返り、自己評価出来るということです。</p> <p>3つ目は、家庭科や社会科等他教科と関連した教科横断的な教材が豊富であるということです。</p> <p>最後に、「光村図書」の主な理由は、3つです。</p> <p>1つ目は、年間3回設定されている You can do it! でレベルの高い言語活動が可能となって</p>

	<p>いることです。</p> <p>2つ目は、巻末の折り込みの All About Me で、自分に関連する表現の集大成ができるようになっていることです。</p> <p>3つ目は、巻頭にある Can-Do List で、できるようになることである到達目標が明確に示され、自己評価もできるようになっていることです。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>すべての発行者の教科書が充実していて、子供たちが楽しく学べる教科書だと感じました。子供たちの関心を高めるためには、発展性のある学習テーマが必要だと思います。このような観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。</p>
委員	<p>各社とも大変工夫されておりますが、特に開隆堂を見ますと、身近な題材を取り入れられており、発展性のある内容だと思いました。</p>
委員	<p>発展性という観点で考えると、開隆堂の教科用図書は、児童の思考の流れに沿って学習が進められ、各 lesson の最後の異文化情報や他教科の関連した学習が良いと思いました。また、東京書籍の教科書も、Over the Horizon で異文化の学習や他教科と関連した学習が設定されているところも良いと感じました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は 退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、次に、道徳の報告をお願いします。</p> <p>ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>これから、道徳科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>令和6年度使用道徳科の教科用図書について、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研の6者全ての調査結果を、報告いたします。</p> <p>まず、どの者についても、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、色づかいやデザイン、書体等について特別支援教育的な配慮がされてありましたことを先に申し述べさせていただきます。</p> <p>その上で、各社の教科用図書の調査結果について、調査資料の内容で、特徴的な点を中心に説明させていただきます。</p> <p>当該の教科用図書を見ながら、お聞きください。</p> <p>発行者番号2 東京書籍の教科用図書ですが、3年生用教科書を使って説明いたします。</p>

まず教材ですが、道徳的諸価値を理解させたり、自分との関わりで考えさせたりするために、P 1 3 教材末「考えよう」に道徳的価値に迫る発問と自己を見つめる発問が掲載されています。

各学年の巻頭に「どんな学びをするのかな？」を掲載し、学習への道筋を示していたり、心に残った教材や今後に生かしたいことを書く「学習の記録」がP 1 7 2の巻末に設定されていたりしています。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」としては、現代的な課題に取り組むユニットを同時期に配列し、いじめ、命、自分、情報、安全を6年間かけて繰り返し考えられるようにしています。

「『考え、議論する道徳』を通して道徳性を育成する工夫」としては、P 8のミニ教材「ちょっと話し合ってみよう」で議論する際の文言例を示したり、巻末に発達の段階に応じ、心情円等の思考ツールを掲載したりしています。

あわせて、P 1 4 3やP 5 2に「問題を見つけて考えよう」、P 9 0等の「演じて考えよう」のページで、問題解決的な学習や体験的な学習の進め方を示されている教材が、全学年に掲載されています。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、3年には、P 2 0にふっかちゃんが渋沢栄一翁や深谷市を紹介する教材「ふっかちゃんの町じまん」と、4コマ漫画としてP 1 7に熊谷市出身の女医荻野吟子が掲載されています。

発行者番号17 教育出版の教科用図書ですが、5年生用教科書を使って説明いたします。

まず教材ですが、P 8に授業の見通しがもてるよう、各教材の冒頭に主題が示され、あわせて、導入の例として、読み物の前に道徳的価値について考えられるような問いかけがあります。

P 1 1のように各教材末には「考えよう」「深めよう」「つなげよう」など、発問例が用意されており、教師が授業について考え、発問を設定する際、参考となります。

また巻末に、振り返りを書くことができる「学習をふり返ろう」、「1年間の学習をふり返ろう」が設けられ、児童自身が成長を感じられるよう工夫されています。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」として、いじめ問題、情報モラルを最重点テーマとして全学年で取り上げ、教材とコラム等を組み合わせたユニットとして学習を進めることができるようにしています。

「『考え、議論する道徳』を通して道徳性を育成する工夫」として、全学年で体験的な学習ができる教材として「たいけん」が設定されており、役割演技や動作化など、道徳的行為に関する体験的な学習が示されています。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、特に、5年P 2 8に教材「公益のために生きる―渋沢栄一―」と深谷市内の栄一翁関連の施設等の資料が、4年には奥秩父を題材とした教材「十歳のプレゼント」が掲載されています。5年には東松山市出身の梶田隆章氏のコラムも掲載されています。

発行者番号38 光村図書出版の教科用図書ですが、4年生用教科書を使って説明いたします。

6者のうち、この1者だけ、AB版ではなく、B5変形版を採用し、持ち運びに適した配慮がされています。

まず教材ですが、P 1 0のように教材冒頭、キャラクターから児童への呼びかけがあり、「自分ならどうするか、どう考えるか」という主体的な姿勢で学習に取り組めるよう工夫されています。

P 1 5など教材末の「考えよう・話し合おう」には、自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりすることを意図とした発問が設定されています。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」については、いじめや共生等の現代的な課題を効果的に学習できる工夫として、ユニット形式の教材配置を取り入れています。

特に「生命の尊さ」をテーマとした教材が各学期1教材、P 5 5にあるように「感じよういのち」という、実感を伴った学びができるページが学年に1か所、設定されています。

「『考え、議論する道徳』を通して道徳性を育成する工夫」ですが、3～6年の巻末の付録「学びの道具箱」では、授業で活用できる思考ツールや話し合い活動を紹介し、各教材で話し合いがより深められるよう工夫がされています。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、4年に旧熊谷市立星宮小を取り上げた「わたしたちの校歌」が掲載され、「年賀状に書いた夢」の資料に荻野吟子の伝記が紹介されています。1年にさいたま市出身なかやみわさんによる教材が掲載され、3年にはさいたま市出身若田光一さんが紹介されています。

発行者番号1 1 6 日本文教出版の教科用図書ですが、

6者のうち、この1者だけ、読みもの教材や活動内容等を示す冊子と「道徳ノート」の2冊で構成されています。

6年生用教科書を使って説明いたします。

まず教材ですが、P 6のように各教材冒頭には内容項目に即したキーワードや、道徳的価値について考えられるような発問例が提示され、導入に活用できます。

あわせて各教材末に発問例「考えよう」「見つめよう・生かそう」があり、特に「見つめよう・生かそう」は、自己の生き方について考えを深める発問になっています。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」ですが、いじめに係るユニットを全学年で3回分配置し、目次に「人との関わり」として示しています。教材+教材、教材+コラムなど、多様な組み合わせになっています。

P 3 6をご覧ください。あわせて全学年で情報モラルに係る教材と、情報モラルに関する知識や活動を取り入れることができる資料が用意されています。

「『考え、議論する道徳』を通して道徳性を育成する工夫」ですが、教材ごとに自由記述ができる別冊「道徳ノート」の活用を工夫することで、自分と友達や教師の考えを共有・比較ができ、多面的・多角的に考えることができます。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、5年には規則の尊重について学ぶため、埼玉県内の、ある地域のマンションを題材にした「住みよいマンション」、6年には親切、思いやりについて学ぶため、羽生市出身の宮澤章二の詩「行為の意味」が掲載されています。

発行者番号2 0 8、光文書院の教科用図書ですが、6年生用教科書を使って説明いたします。まず、P 2からP 9のように道徳授業のオリエンテーションに活用できる多様なページが設

定されています。教材冒頭には導入で活用できる問いが用意されており、主題に関わる問題意識をもつことができます。

巻末に「学びの足あと」が設けられ、言葉と図を用いて学習の記録を積み重ね、自分の学びを見つめ成長を実感できます。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」としては、P 48の情報モラルやP 88に回復力・へこんでも立ち直る力であるレジリエンスについて、全学年にコラムが設けること、発達の段階を考慮し教材が配置することで、系統性を踏まえ、学びが深められるようになっていきます。

P 164ページをご覧ください。SDGsを扱ったコラム「みんなでつくる『わたしたちの未来』」が全学年に設けられ、問題意識をもち、自分事として考えられるよう工夫されています。

「発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫」としては、『いじめ』や『命』、発達の段階に応じ、「人間」を主としたテーマの学年独自主題が「重点主題」として設定され、連続した複数時間で扱い、多面的・多角的に考えられる構成になっています。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、4年では、奥秩父の山々の美しさを扱った「十さいのプレゼント」や川越市のマークを扱った教材が掲載され、3年では、和光市出身の大石真さんによる教材「貝がら」が掲載されています。

発行者番号224 学研の教科用図書ですが、6年生用教科書を使って説明いたします。

まず教材ですが、P 12をご覧ください。児童自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことができるよう、教材冒頭には主題名を記載せず、巻末に内容項目と併せて示されています。

教材の関連ページ「深めよう」「心のパスポート」や、考えるきっかけを示すハート・感嘆符・疑問符のマークを設定し、自分事として考えを深めさせるよう工夫されています。

「『考え、議論する道徳』を通して道徳性を育成する工夫」ですが、P 17にあるように教材末に「深めよう」が用意されているものがあり、「つかもう」「探そう」「ふみ出そう」の一連の流れで進める問題解決的な学習が提案されています。

「現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫」ですが、巻頭の「つながる私 広がる私」に示された現代的課題マークが各教材に示され、身の回りの課題に目を向けて自分の生き方について考える工夫がされています。

「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットが用意され、内容項目の異なる複数の教材を用いて多面的・多角的に考えを深めることができます。

最後に「郷土に係る教材等について」ですが、3年で和光市出身の大石真氏の教材「貝がら」、5年で羽生市出身の宮澤章二氏の詩「行為の意味」、熊谷市出身の荻野吟子を扱った読み物教材「女性が医師になれる社会へ」、6年の資料で深谷市出身の渋沢栄一翁が取り上げられています。

以上、6つの発行者全ての教科書につきまして、道徳科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>東京書籍 9 票、教育出版 2 1 票、光村図書 3 票、日本文教出版 3 票、光文書院 2 票、学研 9 票 以上でございます。</p>
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
委員	第 1 8 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2 ～ 3 者あげるとするならば、どの発行者でしょう。
調査員長	<p>どの発行者も、創意工夫を凝らした教科用図書であると調査員一同感じていたところではあります。深谷市、寄居町の児童が使用するにあたり、2 ～ 3 者敢えて挙げるとすれば、「教育出版」と「東京書籍」と「学研」があげられます。</p> <p>この 3 者は、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、現代的な課題などの題材を教材の扱い方も含めて、創意工夫されています。</p> <p>このこととともに、「教育出版」は、児童が親しみを感じる深谷ゆかりの偉人渋沢栄一翁に係る読み物教材や資料が掲載されている点で、地域性を考慮し、授業で使ってみたいと感じる魅力のある教科用図書です。あわせて、現在、第 18 採択地区で使用しているため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。</p> <p>「東京書籍」は、新たに「ふっかちゃん」や「渋沢栄一翁」等、『深谷市』についての読み物教材が掲載されており、児童が親しみを感じる、地域性を考慮し、授業で使ってみたいと感じる魅力のある教科用図書だと言えます。</p> <p>「学研」は、児童が親しみを感じる、身近な偉人渋沢栄一翁に係る資料が掲載されている点や、過去に、深谷市、寄居町で使用していた副読本の発行者であるため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。</p> <p>以上の理由で、「教育出版」と「東京書籍」、「学研」の 3 者を挙げます。</p>
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。
委員	学習を深めるためには、教師の問いが重要と考えます。このような観点からすると、どうでしょう。
委員	道徳的価値を、どう子供たちが自覚していくか、何の価値を学んだか、道徳的価値を正面からしっかりと問うているのは教育出版だと思いました。価値をどう学ぶのかということに正対

	<p>しているのは教育出版だと思いました。</p>
委員	<p>教師の問いという観点からいうと、委員長の報告にもあったように、教育出版の教科書には、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」など、教材ごとに発問例が用意されているところは良いと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、投票を行います。事務局は準備願います。</p>
議長	<p>それでは、開票結果について、事務局から報告願います。</p>
事務局	<p>開票いたします。</p> <p>保健 東京書籍 英語 開隆堂 道徳 教育出版  保健 大修館 英語 開隆堂 道徳 教育出版</p> <p>以上でございます。</p>
事務局	<p>保健、外国語、道徳の開票結果をご報告いたします。</p> <p>保健、東京書籍 5 票、大日本図書 0 票、大修館 1 票、文教社 0 票、光文書院 0 票、学研 0 票  外国語、東京書籍 0 票、開隆堂 6 票、三省堂 0 票、教育出版 0 票、光村図書 0 票、啓林館 0 票</p> <p>道徳、東京書籍 0 票、教育出版 6 票、光村図書 0 票、日本文教 0 票、光文書院 0 票、学研 0 票</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>それでは、確認致します。</p> <p>保健は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。  外国語は開隆堂が過半数を得ましたので開隆堂を選定いたします。  道徳は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。</p>
議長	<p>では、全教科について、確認します。</p> <p>国語            教育出版  書写            教育出版</p>

	<p>社会 教育出版</p> <p>地図 帝国書院</p> <p>算数 東京書籍</p> <p>理科 教育出版</p> <p>生活 東京書籍</p> <p>音楽 教育芸術社</p> <p>図画工作 開隆堂</p> <p>家庭科 開隆堂</p> <p>保健 東京書籍</p> <p>外国語 開隆堂</p> <p>道徳 教育出版 となりました。</p>
議長	<p>メモ用紙を回収させていただきます。</p>
議長	<p>長時間にわたり、熱心な協議ありがとうございました。皆様の御協力により、円滑に議事を終了することができました。</p> <p>以上をもちまして、協議を終わりにします。議長の任を解かせていただき司会を事務局にうつします。</p>
事務局	<p>会長様、ありがとうございました。</p> <p>今後の日程について、事務局より連絡いたします。</p>
事務局	<p>本日の協議結果については、後日各教育委員会へ第18採択地区教科用図書採択地区協議会長名で改めて、報告いたします。</p> <p>深谷市、寄居町それぞれにおいて、報告を受け、採択に係る教育委員会の準備をお願いいたします。</p> <p>教育委員会において採択された教科用図書については、速やかに採択地区協議会事務局へ報告いただきます。深谷市、寄居町の2市町共に、採択地区協議会で選定した教科用図書がそれぞれの教育委員会で採択された時点で、第18採択地区における教科用図書の採択決定となります。</p>
事務局	<p>閉会のことばを、事務局 が申し上げます。</p>
事務局	<p>以上で、令和5年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会を終了いたします。</p>